

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	国保賦課・徴収業務経費					事業コード	450213				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521				
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課				所属長	貴田 直子				
会計情報	款	01 総務費	項	02 徴収費	目	01 賦課徴収費	会計	02 国保	決算附属資料	276	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法、福知山市債権管理条例、福知山市滞納金督促条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・国民健康保険事業を行うための財源である国民健康保険料について適正公平な賦課・徴収により保険料を確保し、健全な国保運営を行った。										
対象者	福知山市国民健康保険被保険者				対象者数	12,750		単位あたりコスト	1.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社ケーケーシー情報システム アテンサプライ株式会社										
事業概要 (箇条書き)	・国民健康保険について被保険者世帯ごとに国民健康保険料を賦課し徴収を行った。 ①保険料決定通知書兼納付書の送付 ②口座振替の推進(ペイジー利用) ③督促状の発送 ④所得照会等 ⑤バーコード決済など納付方法の利便性向上の取組み										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	役務費	4,323			通知書等郵送料、コンビニ収納・口座振替手数料						
	委託料	3,256			通知書等発送業務委託料						
	需用費	461			督促状はがき、封筒印刷						
	負担金補助及び交付金	100			ペイジー年会費						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	10,458	10,081	10,480	10,949					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0							
小計(①～③)	10,458	10,081	10,480	10,949						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	10,458	10,081	10,480	10,949					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	10,458	10,081							
	③ 執行額	8,829	8,141							
	④ 執行率	84.4%	80.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.30 / 0.00	1.37 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	10,400	10,960							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	19,229	19,101								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	職員給与と費等繰入金	種類	一般会計繰入金	実績金額	6,105	274	決算附属資料	272	頁
		府繰入金(2号分)		保険給付費等交付金	1,301		272			
		特別調整交付金(市町村分)		保険給付費等交付金	121		272			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	国保料(現年分)収納率	%	96.26 / 95	96.21 / 95.5	96.1 / 96	/ 97	97
納期内納付率	%	91.83 / 92	90.71 / 92	90.44 / 92	/ 92	92	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	広報回数(納期内納付周知)	回	11 / 11	11 / 11	11 / 11	/ 11	11
	単位あたりコスト		0.0	802.6	740.1		
	口座振替勧奨回数	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/	国保賦課・徴収業務経費
単位あたりコスト		0.0	8829.0	8141.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険事業の運営に必要な原資となる保険料を適正に賦課し、被保険者へ通知また請求した。 コンビニ納付や口座振替などにより、被保険者が納付しやすい環境を提供できた。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ペイジー口座振替受付や口座振替勧奨通知を送付することで、納期内納付の推進及び納付者の利便性向上に寄与した。 コンビニ納付・バーコード決済を可能とすることで納付者の利便性向上に寄与した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ペイジーやコンビニ収納での収納サービスにより、納付機会の確保につながった。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 適正な賦課・収納のために必要な事業。 収納率は令和2年度以降96%台を維持している。令和4年度においても、継続して口座振替登録の勧奨を積極的に行った。また、業務研修により職員の知識・スキル向上に努め、窓口での折衝の平準化や税機構との綿密な連携は現年度分の収納率の向上に寄与した。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 国保の安定運営のため、より効果的な口座振替の推奨の工夫やきめ細かな対応を行い、収納率の向上を目指す。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 今後も適正な賦課や効率的な収納の実施を図っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	精神結核医療付加金				事業コード	450237					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり					
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521				
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子					
会計情報	款	02 保険給付費	項	06 精神結核医療付加金	目	01 精神結核医療付加金	会計	02 国保	決算附属資料	280	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市国民健康保険条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・国民健康保険加入世帯の精神疾患、結核に係る医療費の負担軽減を図り健康の保持増進に寄与する。										
対象者	福知山市国民健康保険被保険者			対象者数	12,750		単位あたりコスト	0.4			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律第37条の2第1項、障害者総合支援法に規定する第58条に規定する指定自立支援医療のうち障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令(平成18年政令第10号)第1条第3号で定める結核医療及び精神障害医療を給付。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	4,690			精神・結核に係る医療費						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,463	5,400	5,400	5,040				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	4,463	5,400	5,400	5,040					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	573	554				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	4,463	5,400	4,827	4,486				
決算情報	① 流充用額	331	0						
	② 配当予算	4,794	5,400						
	③ 執行額	4,794	4,690						
	④ 執行率	100.0%	86.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.06 / 0.00	0.02 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	480	160						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,274	4,850							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	府繰入金(2号分)	種類	保険給付費等交付金	実績金額	4,690	決算附属資料	272	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		国保連への支払回数	回	12 / 12	12 / 12	12 / 12	/ 12
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	3 /	/	/	精神結核医療付加金
	単位あたりコスト		/				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険被保険者の精神疾患、結核医療に係る経済的負担を軽減。条例により規定し支給。京都府内統一の規定。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険被保険者の精神疾患、結核医療に係る経済的負担を軽減。条例により規定し支給。京都府内統一の規定。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険被保険者の精神疾患、結核医療に係る経済的負担を軽減。条例により規定し支給。京都府内統一の規定。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険被保険者の精神疾患、結核医療に係る経済的負担を軽減した。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 継続して事業を実施する。支給は市町村条例によるものであるが、京都府内市町村すべて同様の取り扱いである。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、精神疾患、結核医療に係る経済的負担軽減を図っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	その他共同事業事務費拠出金					事業コード	450243	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり		
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521	
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子		
会計情報	款	04 共同事業拠出金	項	01 共同事業拠出金	目	01 その他共同事業事務費		頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	-		R5現在の状況
根拠法令等	国民健康保険法 ほか							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府下共同事務)							
関連事業								

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・退職被保険者等にかかる保険給付費は、被用者保険等被保険者が負担すべきものであり、退職被保険者等であるにもかかわらず一般被保険者となっている者を抽出し退職被保険者とするにより、国保の保険給付費を抑える。							
対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	12,750	単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等								
事業概要 (箇条書き)	・国保中央会が日本年金機構から受けた年金受給権者リストにより、国保連合会が退職被保険者等に該当すると思われる被保険者を抽出し、対象者一覧表等を作成し、市町村に提供。 ・国保中央会の規定に基づき、年金受給者数に応じて請求される費用を納付。							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容					
	負担金補助及び交付金	1	リスト作成に係る費用					

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3	2	1	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	3	2	1	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	3	2	1	0			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	3	2					
	③ 執行額	1	1					
	④ 執行率	33.3%	50.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.02 / 0.00	0.03 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	160	240					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	161	241						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	職員給与と費等繰入金	種類	一般会計繰入金	実績金額	1	274	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	国保連への支払回数	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		
	単位あたりコスト		/	5 /	/	/	その他共同事業事務費拠出金

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保中央会規定に基づいて支出。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保中央会規定に基づいて支出。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input checked="" type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保中央会規定に基づいて支出。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度で退職被保険者制度が終了している。令和2年度以降、退職被保険者該当者は0人。 ・該当者リストは作成されるものの、既に退職適用済みや振替期間(5年)経過などにより退職振替対象者が存在する可能性は低い。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会の規定に基づき、拠出金の支出を継続する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・退職者医療制度の経過措置廃止(令和5年度末予定)に伴い事業廃止。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	健康増進事業一般経費					事業コード	450252				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521				
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課				所属長	貴田 直子				
会計情報	款	05 保健事業費	項	02 保健事業費	目	01 保健衛生普及費	会計	02 国保	決算附属資料	282	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市国民健康保険保健事業計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法 ほか										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・効果的な保健事業を実施するための国民健康保険保健事業計画(データヘルス計画)で抽出した健康課題を解決するため、イベント等の啓発事業や健康教室等で病気に対する知識を深め、被保険者に健康管理の大切さを意識付け、疾患の重症化を予防する。										
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(40歳以上)				対象者数	10,364		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・各保健福祉センターにおいて健康増進のための保健事業を実施。 ・健康増進と疾病の重症化防止を進める教室・イベントでの啓発。 ・人工透析を必要とする腎不全を予防する糖尿病・高血圧・脂質異常症に対する病態別健康教室の実施 ・各支所等で行われるイベントでの健康啓発コーナーで健診の啓発や健康チェック等実施										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容						
	報酬、職員手当等		321		会計年度任用職員(看護師)報酬、手当						
	需用費		1		消耗品、イベント用啓発物品						
	報償費		23		講師謝礼						
	役務費		8		郵送料						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)								
予算情報	① 当初予算	592	623	4,889	227							
	② 補正予算	0	0	0	0							
	③ 繰越予算	0	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0								
	次年度繰越	0	0									
小計(①～③)	592	623	4,889	227								
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0							
	② 国支出金	0	0	0	0							
	③ 府支出金	592	623	269	227							
	④ 地方債	0	0	0	0							
	⑤ その他特財	0	0	4,620	0							
決算情報	① 流充用額	0	0									
	② 配当予算	592	623									
	③ 執行額	121	353									
	④ 執行率	20.4%	56.7%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.08 / 0.00	0.04 / 0.00	/	/							
	② 概算人件費	640	320									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	761	673										
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	保険者努力支援分		種類	保険給付費等交付金		実績金額	353		決算附属資料	272	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	新規透析導入者(口年以上国保加入被保険者のうち)	人	5 / 3	5 / 3	10 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	教室参加人数(延)	人	55 / 120	60 / 120	47 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		1.5	2.0	7.5		
	単位あたりコスト		/	7 /	/	/	健康増進事業一般経費

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 啓発事業や健康教室事業で被保険者に健康管理の大切さを意識付けできた。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教室では健診の結果から重症化のハイリスク者に対する指導を行うなど、対象者に応じた事業展開ができた。 令和2年度と3年度は、新型コロナウイルス感染症のため、教室やイベントを中止せざるをえなかった。しかし、令和4年度は教室自体は開催できたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、十分な参加者を集めることができなかった。 また、例年実施されている高血圧に特化した教室は、他事業(高血圧抑制のまちプロジェクト事業)と合同実施を行い国保外の予算から支出されていることもあり参加者人数には含まれていない。(対象者は国保。教室開催計6回、合計73人の参加) 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教室事業参加者に対して、健康維持管理への意識向上を図ることができた。 生活習慣病を予防し新たに人工透析を導入することを防ぐことが事業目的に含まれるため、新規透析導入者を指標とすることは適当である。身体状況が良好でない場合、健康教室参加により人工透析導入を遅らせることも可能であるため事業実施は有効である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 健康医療課と事業内容の共有を行い連携を行いながら実施できている。 特定健診受診者には、全員に対面で健診結果を返却している。それに加えて、保健師や栄養士等の指導による生活習慣改善の習得を目的に教室を実施している。健診結果の返却のタイミングで教室を実施すること、ハイリスク者には個別通知を行うこと、広報を徹底することで参加者を募っている。集団教室の参加者は、疾病予防の意識や生活習慣の改善方法を学んでもらうことができるため、健康増進のための一助をなしていると考えられる。 働き世代の健康支援は、教室参加以外にも生活習慣病改善につながる知識の普及の機会を設ける必要がある。 令和3年度より、高血圧に関する教室を地区(中学校区)ごとに実施中、数年かけて市内全域で教室を実施し、食生活等の改善や健康意識の向上を目指す。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 人工透析の導入者を評価指標としてあげたが、すでに透析を導入している人が国保に加入する場合があります、保険者の枠を越えた取り組みを検討していく必要がある。 現役世代には、教室以外でSNSを活用した健康情報の広報や効果的な事業周知について、パンフレットの充実を図りながら検討していく必要がある。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、教室を実施し生活習慣病予防、食生活等の改善、健康意識向上を目指す。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	国保健診事業			事業コード	450282							
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子						
会計情報	款	05 保健事業費	項	02 保健事業費	目	02 疾病予防費		会計	02 国保	決算附属資料	282	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	健康増進計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	国民健康保険法 ほか											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・大腸がん、前立腺がん検診を実施することにより、①予防に対する知識を普及させる。②自覚症状の無い早期の発見、早期治療による死亡数の減少及び医療費の抑制を図る。 ・妊婦歯科健診により、①安全な妊娠・出産につなげる。②妊娠中から口腔ケアの習慣を身につけ、家族全体の歯の健康管理を図る。いずれの検診・健診も重症化を防ぎ、対象者の生活の質を高めることを目的とする。 ・国保歯科健診(40歳、50歳、60歳、70歳の国保被保険者対象)の実施により、①早期に歯周病を発見するとともに歯の健康についての意識向上及び歯科疾患の予											
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(年齢等の制限あり)			対象者数	10,364			単位あたりコスト	0.6			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	一般社団法人福知山医師会、京都府丹波歯科医師会、一般財団法人京都予防医学センター											
事業概要 (箇条書き)	①大腸(40歳以上)及び②前立腺(50歳以上) ⇒ 【集団検診】保健福祉センターや地域公民館【個別検診】市内の委託医療機関(検診方法・自己負担金)①大腸:便潜血2日法・300円②前立腺:腫瘍マーカーPSA検査・200円(無料制度有) ③妊婦歯科健診 ⇒ 母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査受診票を交付→出産日までに協力歯科医療機関において個別健診を受診 ※いずれも①②健康医療課③子ども政策室で実施する方法に準ずる。 ④国保歯科検診(40歳、50歳、60歳、70歳の国保被保険者) ⇒ 対象者へ受診券を交付→協力歯科医療機関において個別健診を受診											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	委託料	5,333		がん検診(集団・個別)業務委託料、妊婦歯科健診委託料、国保歯科健診委託料								
	需用費	165		消耗品、問診票印刷費								
	役務費	76		問診票等郵送費								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,554	7,071	7,569	7,520				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	7,554	7,071	7,569	7,520					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	3,472	3,033	4,560	4,798				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	4,082	4,038	3,009	2,722				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	7,554	7,071						
	③ 執行額	5,852	5,574						
	④ 執行率	77.5%	78.8%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10 / 0.00	0.11 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	800	880						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,652	6,454							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	府繰入金(2号分)	種類	保険給付費等交付金	実績金額	2,096	決算附属資料	272	頁
		保険者努力支援分		796		272			
		検診事業分繰入金		2,607		274			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	前立腺がん発見者数(国保)	人	4 / 7	5 / 7	5 / 5	/ 6	8
大腸がん発見者数(国保)	人	7 / 7	8 / 7	5 / 7	/ 7	8	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	前立腺がん検診受診率	%	17.2 / 21	18 / 20	17.1 / 20	/ 20	21
	単位あたりコスト		280.9	665.0	326.0		
	大腸がん検診受診率	%	13.1 / 19	14.4 / 15	13.4 / 8	/ 13	19
単位あたりコスト		368.8	914.4	416.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> がんは、本市国保医療費支出額の第1位となっているため、医療費抑制に資する事業としてがん検診を実施し、早期発見、早期治療につながるよう取り組んだ。 歯科健診を実施することで、口腔ケアの意識向上、歯科疾患の早期発見に寄与した。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 国保人間ドック(大腸がん検査はドックに含まれる)受診時に前立腺がん検診を希望する被保険者が同時に受診できるよう、医療機関と連携して行っている。 妊婦歯科健診また国保歯科健診は個別健診であり、対象者が受診しやすい環境を整えている。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 健診を実施することで、がんを発症している被保険者を発見することができた。 妊婦歯科健診により、妊娠期における口腔ケアの意識向上とそれにより生活の質を高め、安全安心な妊娠・出産につなげることができた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の受診率は前立腺がん検診17.1%、大腸がん検診13.4%。 本事業により、毎年がんの発見がある。治療が開始された場合はがんの進行を阻止できるため、目的を達成できていると考える。治療が開始されない場合は、精密検査の受診勧奨を継続して行う必要がある。 妊婦歯科健診については、受診者が年々減少傾向にある。これは妊婦数の減少によるものと考えられる。 検診を実施し、早期にがんを見つけることで、検診を受けずに進んだ場合の医療費との差が出るためがん発見者数の成果実績は妥当であると考えられる。 国保歯科健診を実施することで、歯科疾患を早期発見また予防することができ、また歯の健康意識向上に寄与し、歯科疾患からの全身へのフレイル予防に有効。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 各種媒体を利用した広報、周知(国保パンフレット・リーフレット等)を継続する。 がん検診の集団検診の予約はWebでの申込みも可能としており、さらなる受診者数の増加を目指す。 妊婦歯科健診について、母子手帳発行時に問診票を対面対象者に渡して説明することができるため、受診につながるよう必要性などを説明する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各種健(検)診を実施し、疾患の早期発見や予防、医療費の抑制、被保険者の生活の質の向上等を図る。。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	京都府税務共同化事業				事業コード	450292					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり					
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521					
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子					
会計情報	款	01 総務費	項	02 徴収費	目	01 賦課徴収費	会計	02 国保	決算附属資料	276	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・市共同事業)										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・納付義務者の利便性向上を図るとともに、滞納整理事務を効果的、効率的に行い、適正な賦課と確実な徴収により収納率の向上を図り、保険料収入を確保する。										
対象者	福知山市国民健康保険料滞納者			対象者数	835		単位あたりコスト	26.8			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府税務機構)										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・「京都府税務機構」の構成団体として、運営経費を負担。 ・滞納となった国保料を京都府税務機構へ移管し、適正な滞納整理により収納率の向上と保険料収入の確保及び負担の公平性を担保した。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	22,243		京都府税務機構への負担金支払							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	22,985	22,755	20,889	22,617					
	② 補正予算	2,134	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0							
小計(①~③)	25,119	22,755	20,889	22,617						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	25,119	22,755	20,889	22,617					
決算情報	① 流用額	0	0							
	② 配当予算	25,119	22,755							
	③ 執行額	24,531	22,243							
	④ 執行率	97.7%	97.7%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.03 / 0.00	0.02 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	240	160							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	24,771	22,403								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	職員給与等繰入金		種類	一般会計繰入金	実績金額	22,243	決算附属資料	274	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	国保料(滞納繰越分)収納率	%	38.17 / 33.8	38.14 / 35	35.15 / 38	/ 37	37
滞納者割合	%	9.04 / -	8.61 / -	9.44 / -	/ 8.5	8	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	差押件数・交付要求件数	件	284 / 250	216 / 200	235 / 230	/ 240	250
	単位あたりコスト		85.4	113.6	94.7		
	単位あたりコスト		/	11 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 滞納になった案件(税・料)を税機構に全件移管し、徴収業務を一元的に行うことで納税者にとってわかりやすい事務処理と効果的な滞納整理に取り組んだ。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 納税者の利便性の向上や収納管理業務等の効率化を図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 税機構移管前と比べて滞納分の収納率は大きく向上している。(税機構移管前H21国保料滞納繰越分収納率:14.73%) 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の国保料(滞納繰越分)の収納率は税機構設立時に比べ向上しており、京都地方税機構への移管による保険料の収納は有効である。(税機構設立時H22国保料滞納繰越分収納率:19.86%) 京都地方税機構と連携して、資力のある滞納者からの徴収や、不納欠損を適切に行う必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 税機構に収納率の向上を求めつつ、構成団体として連携を強めることで滞納繰越分だけでなく、現年度の分の滞納についても年度内の納付に取り組むことで現年度分の収納率を向上させる。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 税機構との連携を図り、また不納欠損を適切に行いながら、引き続き滞納繰越分等の収納率向上(保険料収入の確保)を目指す。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	国保運営事務事業				事業コード	450201 ほか						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子						
会計情報	款	01 総務費	項	(複数科目合算)	目	(複数科目合算)		会計	02 国保	決算附属資料	276・278	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	国民健康保険法 ほか											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (国民健康保険法に基づく事務 ほか)											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・国民健康保険加入者が安心して医療を受け、健康の保持増進が図られるように資格の適正化及び適正な保険料徴収で国保財政を健全かつ安定的に運営し、各種給付制度を利用できるようにする。											
対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	12,750	単位あたりコスト	3.9							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	京都府国民健康保険団体連合会、市町村基幹業務支援システム開発共同企業体代表企業 株式会社ケーケーシー情報システム ほか											
事業概要 (箇条書き)	・国民健康保険の資格管理・保険給付を実施。 ①資格取得・喪失等の受付、脱退勧奨事務 ②国保被保険者証・高齢受給者証・限度額等各認定証等の交付事務 ③高額療養費・療養費等給付申請受付事務 ④予算編成・決算関係事務 ⑤国民健康保険運営協議会に係る経費など											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	役務費	10,121	レセプト電算処理手数料、郵送料、自動車損害賠償保険料、ごみ廃棄手数料、公用車12か月点検手数料 など									
	負担金補助及び交付金	5,059	京都府国民健康保険団体連合会負担金、オンライン資格確認等システム及び医療保険者向け中間サーバー等運営負担金 など									
	報酬、共済費、職員手当等	2,855	会計年度任用職員報酬、共済費、手当、運営協議会委員報酬									
	委託料	3,382	システム改修業務委託、保守業務委託、国保情報集約システムデータ連携用ネットワーク機器等設定業務委託									
旅費、需用費など	1,822	旅費、消耗品購入、燃料費、限度額適用認定証等印刷、プリンター修繕料、公用車修繕料、複写機賃借料 など										

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	34,759	27,501	33,245	34,730				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	34,759	27,501	33,245	34,730					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	1,762	436	4,606				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	34,759	25,739	32,809	30,124				
決算情報	① 流充用額	0	△ 176						
	② 配当予算	34,759	27,325						
	③ 執行額	28,229	23,239						
	④ 執行率	81.2%	85.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	2.84 / 0.00	3.26 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	22,720	26,080						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	50,949	49,319							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	財政安定化支援事業繰入金	種類	一般会計繰入金	実績金額	3,830	決算附属資料	274	頁
		職員給与等繰入金		一般会計繰入金		16,977		274	
		特別調整交付金(市町村分)		保険給付費等交付金		2,422		272	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
国保運営協議会開催	指標	単位	3 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
	システム改修(制度改正対応)	回	3 / 3	4 / 4	3 / 3	/ 3	4
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	13 /	/	/	

国保運営事務事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者証等の交付など国保制度に係る各種届出や給付手続きなど、法令に基づき国保事業を適正に運営。 ・法令に基づいたオンライン資格確認(医療保険資格等の情報を専用ネットワークを介して確認するしくみ)の運用のための適正な国保資格等の管理。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹システムなどを利用し、適時適切な証発行や給付手続きを実施。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者証をはじめとする各種証を発行し、資格有無の確認、医療費請求や各種給付申請の適正化。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的に毎年度の制度改正に対応してシステムなどを利用し効率的で適正な事業運営をしていく。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン資格確認の本格的開始に伴い、国保情報集約システムを適切に運用していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も制度改正に対応しながらシステムなどを利用し効率的で適正な事業運営を継続していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	医療費適正化事業				事業コード	450209 ほか					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり					
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521					
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子					
会計情報	款	(複数科目合算)	項	(複数科目合算)	目	(複数科目合算)	会計	02 国保	決算附属資料	276・282	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法 ほか										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・健康保持増進や安心して医療にかかることができる仕組みである国民健康保険制度を周知し、国民健康保険事業の安定した継続のため、適正な資格管理と保険給付を行い、医療費通知の送付などと併せて医療費の適正化を図る。										
対象者	福知山市国民健康保険被保険者			対象者数	12,750		単位あたりコスト	1.3			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	京都府国民健康保険団体連合会、株式会社東京法規出版										
事業概要 (箇条書き)	・国保資格の適正化、医療給付制度の周知、医療機関への適正受診促進、医療費通知、後発医薬品差額通知、レセプト点検により過誤を発見・補正することで医療費の適正化を向上。 ①国保有資格者へ国保加入等を啓発(チラシ・ポスターなど) ②被保険者世帯へ国保制度に関するパンフレット送付(医療給付制度、医療機関への適正受診を啓発) ③医療費通知の送付 ④重複服薬通知・後発医薬品差額通知の送付										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容						
	役員費		4,280		郵送料、医療費通知作成手数料、レセプト二次点検手数料						
	報酬、共済費、職員手当等		3,832		会計年度任用職員報酬、共済費、手当						
	委託料		2,746		国保パンフレット作成委託料						
	需用費		36		参考図書						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	11,405		10,938		8,101		9,242		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)	11,405		10,938		8,101		9,242			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	8,110		5,673		6,368		7,565		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	3,295		5,265		1,733		1,677		
決算情報	① 流充用額	0		176						
	② 配当予算	11,405		11,114						
	③ 執行額	9,921		10,894						
	④ 執行率	87.0%		98.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.45 / 0.00		0.67 / 0.00		/		/		
	② 概算人件費	3,600		5,360						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,521		16,254							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	府繰入金(2号分)		種類	保険給付費等交付金		5,399		272	
		職員給与等繰入金			一般会計繰入金		3,686		274	
		保険者努力支援分			保険給付費等交付金		1,728		272	
				実績金額				頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	レセプト点検による過誤調整額	千円	71786 / -	53663 / -	63623 / -	/ -	-
レセプト点検による過誤調整件数	件	1301 / -	1379 / -	1390 / -	/ -	-	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	国保制度周知冊子発行回数	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		9429.0	9921.0	10894.0		
	医療費通知発送回数	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
単位あたりコスト		4714.5	4960.5	5447.0			

医療費適正化事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者に国保制度等の周知を図り、医療費通知や後発医薬品差額通知、レセプト点検等により医療費の確認を行うことで国民健康保険事業の健全な運営に資することができた。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> レセプト点検、医療費通知や後発医薬品差額通知の作成については国保連合会に委託して実施することで、効率的に実施できた。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 各世帯に制度内容を知らせる冊子の配布や、医療費の額、先発医薬品と後発医薬品の差額を知らせることで適正な受診の周知に有効であった。 レセプト点検は、過誤請求を行うことで適正な医療の給付に有効であった。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> レセプトの点検や医療費通知、後発医薬品差額通知については、国保連合会に委託して実施することでコストを抑えることができている。 国保制度の周知については、被保険者の理解度を図る指標がなく目標を設定しづらい事業であるが、被保険者へ配布する冊子やホームページ等により広報することで引き続き受診の適正化に努める。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品差額通知について、通知回数を増やすなど、効果的な事業になるよう検討する。 重複服薬通知送付者について、通知後の状況をレセプトにより確認していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険事業を安定して運営していくため、今後も、制度の周知や適正な資格管理と保険給付等を行い、医療費通知の送付などと併せて医療費の適正化を図っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	法定給付事業				事業コード	450218 ほか						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子						
会計情報	款	02 保険給付費	項	(複数科目合算)	目	(複数科目合算)		会計	02 国保	決算附属資料	278	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	国民健康保険法 ほか											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・国民健康保険被保険者が疾病等により健康の維持・回復のため医療機関で受療した医療について保険給付を行う。											
対象者	福知山市国民健康保険被保険者			対象者数	12,750		単位あたりコスト	414.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・国保連合会及び保険者のレセプト審査に基づいた、医療費に係る保険者負担分を支払う。 ①医療機関等からのレセプト送付により診療報酬が請求されたものに対して審査のうえ支払う。 ②保険者の資格審査により過誤返戻事務を国保連合会に対して実施。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	5,261,291		医療費の保険者負担分								
	役務費	10,417		レセプト審査及び電算手数料								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,254,976	5,294,533	5,124,192	5,668,794				
	② 補正予算	0	77,946	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	5,254,976	5,372,479	5,124,192	5,668,794					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	5,237,551	5,356,055	5,109,781	5,654,676				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	17,425	16,424	14,411	14,118				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	5,254,976	5,372,479						
	③ 執行額	5,073,514	5,271,708						
	④ 執行率	96.5%	98.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.88 / 0.70	2.05 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	16,790	16,400						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,090,304	5,288,108							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	保険給付費等交付金(普通交付金)	種類	保険給付費等交付金	実績金額	5,225,938	決算附属資料	272	頁
		一般被保険者第三者納付金		一般被保険者第三者納付金	3,498	274			
		一般被保険者返納金		一般被保険者返納金	1,855	274			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	支払月数	月	12 / 12	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		426897.7	422792.8	439309.0		
	単位あたりコスト		/	17 /	/	/	法定給付事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険法に基づき、療養の給付を行った。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険法に基づき、療養の給付を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険法に基づき、療養の給付を行った。 ・被保険者が安心して必要な給付を受けることができた。また健康保持増進に有効。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者が安心して保険給付を受けることができ、健康保持増進に有効である。 ・高額な医療費が発生しないよう抑制策が必要である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・高額な医療費が発生する前に、健診などの受診により病気の早期発見や保健指導を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き被保険者が安心して保険給付を受けることができる体制を整える。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	法定任意給付事業				事業コード	450235 ほか						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子						
会計情報	款	02 保険給付費	項	(複数科目合算)	目	(複数科目合算)		会計	02 国保	決算附属資料	278・280	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度 ほか		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-		R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法 ほか											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・国民健康保険加入世帯の出産育児・葬祭に係る経済的な負担軽減を図る。(昭和36年度開始) ・新型コロナウイルス感染症の国内の感染拡大防止の観点から、労働者が感染した場合(発熱等の症状があり感染が疑われる場合を含む。)に休みやすい環境を整備する。(令和2年度開始)											
対象者	福知山市国民健康保険被保険者			対象者数	12,750		単位あたりコスト	2.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・国民健康保険被保険者が出産または死亡したときに申請により出産育児一時金または葬祭費を支給。 ・出産育児一時金は、世帯主に対し40.8万円(令和4年1月1日以降の出産、産科医療補償制度有の場合は42万円)を支給。なお、令和5年4月1日以降の出産については、48.8万円(産科医療補償制度有の場合は50万円)を支給。 ・葬祭費は、葬祭を行った者の申請により5万円支給。 ・傷病手当金は、令和5年5月7日までに新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被用者等に対し、労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労務に服することができない期間に係る直近の継続した3月間の給与収入の合計額を就労日数で除した金額×日数を支給。(国2/3、市1/3)											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	20,772		出産育児一時金、葬祭費、傷病手当金								
	役務費	7		国保連合会への支払事務手数料								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	27,061		27,061		28,560		22,943		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)	27,061		27,061		28,560		22,943			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	700		700		700		123		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	26,361		26,361		27,860		22,820		
決算情報	① 流充用額	550		0						
	② 配当予算	27,611		27,061						
	③ 執行額	22,364		20,779						
	④ 執行率	81.0%		76.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.43 / 0.00		0.54 / 0.00		/		/		
	② 概算人件費	3,440		4,320						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	25,804		25,099							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	出産育児一時金繰入金		種類	一般会計繰入金		9,933		274	
		特別調整交付金(市町村分)			保険給付費等交付金		779		272	
		一般被保険者医療・現年分			一般被保険者国民健康保険料		600		272	
	実績金額							頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	支払回数(出産・直接払)	回	19 / 24	19 / 24	17 / 24	/ 24	24
	単位あたりコスト		1114.6	1177.1	1222.3		
	単位あたりコスト		/	19 /	/	/	法定任意給付事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険被保険者の出産及び死亡による被保険者世帯の経済的負担を軽減することができた。(国の基準に従い条例により金額を定め支給している。) ・新型コロナウイルス感染症に感染するなどしたため仕事を休まざるを得ない被保険者のうちの被用者に対して、国の算定基準に基づき傷病手当金を支給することで、休みやすい環境を整えることができた。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・出生届・死亡届の確認により、被保険者へ支給申請案内、国保加入・喪失適用を行った。 ・傷病手当金支給申請により、対象者へ速やかに支給した。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険被保険者の出産及び死亡による被保険者世帯の経済的負担を軽減することができた。(国の基準に従い条例により金額を定め支給している。) ・傷病手当金を支給することで、新型コロナウイルス感染症に感染するなどして休まざるを得ない被用者を支援することができた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・出産した被保険者の世帯、死亡した被保険者の葬祭執行者の負担を軽減している。 ・傷病手当金は国の基準支給額に本市独自の施策として上乘せした額を支給しており、国の財政支援適用期間中の事業。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・申請手続の簡素化を検討していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、被保険者が安心して出産できる体制、被保険者の葬祭を行う者への給付、新型コロナウイルス感染等者(令和5年5月7日までのり患者)等への給付を維持する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	基金積立金事業				事業コード	450260他						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子						
会計情報	款	06 基金積立金	項	01 基金積立金	目	(複数科目合算)		会計	02 国保	決算附属資料	282・284	頁
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	国民健康保険法 ほか											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・国民健康保険事業基金を設置し、国民健康保険事業の健全な運営及び保健事業の実施に必要な財源に充てる。 ・高額療養費または出産育児一時金の支給対象となる者に対し、必要な資金を貸し付けるため、高額療養費貸付基金又は出産費貸付基金を設置し、当該世帯の生活の安定を図る。											
対象者	福知山市国民健康保険被保険者			対象者数	12,750		単位あたりコスト	18.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・決算における剰余金を国民健康保険事業基金に積み立て、安定的な財政運営に備えた。 ・国民健康保険事業の健全な運営及び保健事業の実施に必要な財源に充て、一人あたり保険料の据置きに活用。 ・各基金の預貯金利息の積立て。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	国民健康保険事業基金積立金	238,783		積立金								
	高額療養費貸付基金積立金	4		積立金								
	出産費貸付基金積立金	2		積立金								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	361	658	604	709				
	② 補正予算	127,160	238,323	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	127,521	238,981	604	709					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	127,521	238,981	604	709				
決算情報	① 流充用額	65	0						
	② 配当予算	127,586	238,981						
	③ 執行額	127,583	238,789						
	④ 執行率	100.0%	99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.08 / 0.00	0.06 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	640	480						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	128,223	239,269							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	前年度繰越金	前年度繰越金	実績金額	238,322	274	決算附属資料	272	頁
		国民健康保険事業基金等利子	財産収入	467					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	国保事業基金積立(決算剰余金)	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		62814.0	127583.0	238789.0		
			/	21 /	/	/	
	単位あたりコスト						基金積立金事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険事業の健全で安定した運営、被保険者の一時的費用負担の軽減を図るために備えた。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 財務部局や会計部局と連携し、効率的な運用に努めた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険事業の健全で安定した運営のため、前年度剰余金を積み立てた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険事業基金については、決算剰余金を積み立て、歳入が不足したり歳出が増大した場合に取り崩して国保財政の安定のため利用している。 国保都道府県化以降は、京都府へ納める納付金額と、被保険者から納められる保険料との差額に対して、保険料率を据置のために活用している。 令和4年度は、令和3年度決算剰余金を積み立て、そこから保険料を据置きにしたことで不足する保険料を補填するため基金の取崩しを行ったが、令和3年度決算剰余金より取崩金額が少なかったため、基金の残高は令和3年度より増加した。 高額貸付基金・出産費貸付基金については、制度変更により必要性が低下している。基金残高等の検討が必要である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 適正な基金保有額について検討し、積立目標を見直したうえで、計画的に積立を行う必要がある。 令和4年度においては基金の取崩しにより保険料を据置としたため、基金の残高は減少する見込みである。今後、国保財政の安定のため適切な保有額となるよう保険料の決定において基金の残高についても考慮していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、基金を適切に管理していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	国民健康保険事業費納付金				事業コード	450294 ほか					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり					
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521				
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課			所属長	貴田 直子					
会計情報	款	03 国保事業費納付金	項	(複数科目合算)	目	(複数科目合算)	会計	02 国保	決算附属資料	280	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	国民健康保険法 ほか										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (国民健康保険法に基づく事務)										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・保険給付や保健事業の実施など国民健康保険事業を進めるにあたっての財政面の運営を担う京都府国民健康保険事業特別会計を持つ京都府に対して、納付金を納める。京都府は、この納付金を保険給付費等交付金や前期高齢者納付金・後期高齢者納付金・介護納付金の納付などに要する費用に充てる。										
対象者	福知山市国民健康保険被保険者			対象者数	12,750		単位あたりコスト	137.7			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・国民健康保険法等の法令、京都府国民健康保険運営方針等の基準に基づき、京都府が市町村ごとに算定した納付金を納付した。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	1,754,860		国保事業における京都府への納付金							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,587,482	1,754,863	1,701,592	1,658,368				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	1,587,482	1,754,863	1,701,592	1,658,368					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	9,581	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,587,482	1,754,863	1,692,011	1,658,368				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	1,587,482	1,754,863						
	③ 執行額	1,587,480	1,754,860						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.05 / 0.00	0.15 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	400	1,200						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,587,880	1,756,060							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	保険基盤安定繰入金(保険料軽減分)	種類	一般会計繰入金	実績金額	233,393	決算附属資料	274	頁
		保険基盤安定繰入金(保険者支援分)		一般会計繰入金		131,616		274	
		未就学児負担金繰入金		一般会計繰入金		2,673		274	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	納付回数	回	10 / 10	10 / 10	10 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		169676.0	158748.0	175486.0		
	単位あたりコスト		/	23 /	/	/	国民健康保険事業費納付金

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	国民健康保険法に基づくものである。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	国民健康保険法に基づくものである。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	国民健康保険法に基づくものである。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険法の法令、京都府国民健康保険運営方針に基づき京都府が算定した金額を負担している。 ・医療費や所得水準などによっても納付金額が増減する。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費や所得水準などによっても納付金額が増減する。医療費が高ければ納付金額も増額するため、医療費抑制につながる国保事業などを展開する必要がある。 ・国保事業を引続き実施するため、継続して負担する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・今後も国民健康保険法の法令、京都府国民健康保険運営方針に基づき京都府が算定した金額を負担する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	国民健康保険事業特別会計繰出金					事業コード	450274				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521				
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課				所属長	蘆田 祐幸				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	118	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)										
関連事業	国民健康保険事業特別会計各事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	国民健康保険事業の健全な運営を図るための国民健康保険事業特別会計に対する繰出金。										
対象者					対象者数				単位あたりコスト		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	人件費、その他国民健康保険事業特別会計運営に必要な経費等に対して一般会計から繰出金として支出する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	繰出金	612,201			国民健康保険事業特別会計への繰出金						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	642,192	632,227	641,180	630,487				
	② 補正予算	2,134	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	644,326	632,227	641,180	630,487					
予算財源内訳	① 一般財源	366,360	357,460	367,116	359,746				
	② 国支出金	67,873	65,414	66,026	65,771				
	③ 府支出金	210,093	209,353	208,038	204,970				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	644,326	632,227						
	③ 執行額	630,523	612,201						
	④ 執行率	97.9%	96.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.01 / 0.00	0.01 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	80	80						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	630,603	612,281							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	国保基盤安定負担金(保険者支援分)	種類	民生費国庫負担金	実績金額	65,807	決算附属資料	16	頁
		国保基盤安定負担金(保険料軽減分)		民生費府負担金		175,044		24	
		国保基盤安定負担金(保険者支援分)		民生費府負担金		32,903		24	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		【定性的評価のため入力なし】					
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	繰出金決算額	百万円	643.6 / 634.9	630.5 / 642.2	612.2 / 632.2	/ 641.2	
	単位あたりコスト		-	-	-		
	単位あたりコスト		/	25 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	国民健康保険制度の円滑な運営は、市民生活を維持するうえでも必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	法令に基づき、市町村が保険者として実施するものである。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の安定運営の一助となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	繰出を行うことにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】今後も適正に繰出を実施する必要がある。		
改善策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	子宮頸がん予防ワクチン接種事業					事業コード	410351				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ					施策コード	521			
事業担当	所属	15010000 福祉保健部 子ども政策室				所属長	荒賀 正之				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第2次福知山市健康増進計画、第2期福知山市子ども子育て支援事業計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	予防接種法										
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	女性のためのがん検診推進事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	ワクチン接種をすることで、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐとともに、子宮頸がん検診によって子宮頸がんの発症や死亡の減少が期待できる。										
対象者	定期: 中学1年～高校1年生相当	キャッチアップ: 平成9年度～18年度生まれの未接種の女性	対象者数	2,058	単位あたりコスト	12.1					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	京都府医師会(広域)・福知山医師会・京都府国民健康保険団体連合会・京都府立医科大学附属病院										
事業概要 (箇条書き)	・医療機関で3回個別接種(従来の2価ワクチン・4価ワクチンに加え、令和5年より9価ワクチンが追加される) ・中学1年生の女子の定期接種対象者に予防票を送付する。 ・キャッチアップ対象者(積極的勧奨差し控えにより接種機会を逃した者)に対して令和4年4月～令和7年3月まで実施 ・市内の医療機関で個別接種。指定医療機関以外で接種した者へは、償還払いで対応する。 ・キャッチアップ対象者で既に自費で接種を済ませた者も償還払いの対象とする。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	報酬、職員手当等、共済費	53	会計年度任用職員報酬、期末手当、共済費等								
	需用費	64	予防票、送付用封筒、保護者宛文書								
	役務費	418	事業にかかる郵送料、国保連合会事務取扱手数料								
	委託料、負担金	21,118	予防接種医療機関委託料 国保連のシステム改修費用負担金								
扶助費	773	指定外医療機関接種者への償還払い									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	4,900	52,663	60,879	51,089
	② 補正予算	0	△ 27,071	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	4,900	25,592	60,879	51,089	
予算財源内訳	① 一般財源	4,900	25,592	60,879	50,989
	② 国支出金	0	0	0	100
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	2,378	0		
	② 配当予算	7,278	25,592		
	③ 執行額	7,278	22,426		
	④ 執行率	100.0%	87.6%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16 / 0.03	0.30 / 0.03	/	/
	② 概算人件費	1,355	2,475		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,633	24,901			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	子宮がん検診で頭がん確定者	人	0 / 2	0 / 2	0 / 1	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	予防接種率(定期)	%	3 / 5	11 / 7.2	17 / 50	/ 50	70
	単位あたりコスト		725.0	661.6	1319.2		
	予防接種率(キャッチアップ)	%	/	/	9.6 / 50	/ 50	50
単位あたりコスト			27	2336.0			子宮頸がん予防ワクチン接種事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 子宮がんによって、出産を希望する女性の子宮摘出や命を落とすことの損失は、大きい。ワクチンで予防できる疾患対策として必要な事業である。 子宮がん検診と併せて勧奨していくことが重要で、がん検診受診勧奨時にもワクチン接種勧奨も同時に行うことが必要である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 指定医療機関以外で接種した者に対しても対象者がかかりつけ医のもとで安心して接種できるようにしたり、遠方の大学在在等で帰省できない場合も償還払いができるよう利便性を図った。 薬品会社と情報交換を密に行い、ワクチンの流通状況を把握し、対象者がスムーズに接種できる時期を見極めている。また、子宮頸がん予防のための国の啓発開始時期に合わせて予診票を発送することで、対象者の接種意識の向上を図っている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 若いうちから子宮頸がんについての知見を深め、ワクチン接種をすることで予防につながり有効である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 積極的勧奨差し控え期間中に個別に情報提供を行うことで、接種者数は増加傾向となり、積極的勧奨差し控え前の接種率を目標としたが、接種者数は伸び悩んでいる。令和4年度中に、9価ワクチン(新)が令和5年度から開始となることが周知されたことも接種者数が伸びない一因であると考えられる。 キャッチアップ対象者については、転入者が多く、接種履歴が把握できない場合が見込まれるが、キャッチアップ接種の対象者についての情報が広く確実に伝わるよう努める必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 20歳の子宮頸がんクーポン券送付時にも子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨を行えるよう健康医療課と連携していく。 対象者に身近な電子媒体を用いての周知や希望者の予診票送付も検討していく。 接種勧奨はがきにQRコードを載せることで、新たに追加されるワクチンの詳細な説明が見られるようにする。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	予防接種法に基づき継続実施

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	献血・骨髄バンク推進事業				事業コード	410207	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり	
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521	
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘	
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	
	会計	01 一般会計		決算附属資料	152		頁
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-	
	R5現在の状況	継続中					
根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律・福知山市骨髄ドナー助成事業実施要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業	-						

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・輸血用血液製剤をはじめとする血液需要に見合う安全な血液を、安定的に確保する。また、骨髄バンクの登録者を確保することにより、市民が安心・安全に生活できるまちづくりを目指す。						
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	福知山市献血推進協議会・NPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会						
事業概要 (箇条書き)	・福知山市献血推進協議会の活動に対し負担金を交付 ・NPO骨髄バンクと献血の和を広げる会に補助金を交付 ・骨髄ドナーへの助成 ・献血と骨髄バンクに関する啓発の実施						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容				
	旅費・需用費	9	講師旅費				
	負担金補助及び交付金	556	骨髄ドナー助成金、献血推進協議会運営負担金、献血と骨髄バンクの和を広げる事業補助金				

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,176	1,176	1,165	1,165			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	1,176	1,176	1,165	1,165				
予算財源内訳	① 一般財源	896	896	885	885			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	280	280	280	280			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	580	△ 50					
	② 配当予算	1,756	1,126					
	③ 執行額	1,578	565					
	④ 執行率	89.9%	50.2%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.08 / 0.00	0.32 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	640	2,560					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,218	3,125						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	骨髄ドナー助成事業補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	140	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	年間採血者数	人	4435 / 4000	4270 / 4000	4415 / 4000	/ 4000	4000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	移動採血車により献血を実施	日	72 / 60	96 / 60	86 / 60	/ 60	60
	単位あたりコスト		15.9	16.4	6.6		
	単位あたりコスト		/	29 /	/	/	献血・骨髄バンク推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	人工的に生成できない血液・骨髄の供給には、献血と骨髄バンク登録が必要であり、献血等協力団体・個人への関与・普及啓発は重要である。また、輸血用の血液が不足している中、献血の優先度は非常に高くなっているため、広報による献血の呼びかけ、小学校など教育機関における献血セミナー等啓発活動を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	赤十字血液センター・骨髄バンクボランティアと連携し、献血協力団体等との調整を役割分担し、効率的に献血を実施した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	献血協力団体や、ボランティアの協力により事業が実施できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>予定した講演会を小規模で開催したこと及び骨髄ドナーの助成が予定より少なかったため、執行率が50%となった。近年は新型コロナウイルス感染症の影響により献血機会が減少する中、献血人数等は増えており、一定の役割を果たしていると考えている。小学校などでの献血教室など、若年層への献血の普及啓発を行っている。人工的に生成できない血液・骨髄の供給には、献血と骨髄バンク登録が必要であり、献血等協力団体・個人への関与・普及啓発が必要と考える。また、骨髄バンクについては、対象が55歳以下となるため、若年層に対する啓発を行っていく必要がある。</p>		
改善策	<p>血液需要に見合う血液を安定的に確保するため、集団献血の機会を確保する。課題である若年層への普及啓発については、血液センター等関連機関との連携を強化し、献血セミナーの回数や内容の充実を図っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	保健衛生一般経費事業(健康医療課)				事業コード	410301	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり	
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘	
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	
	会計	01 一般会計		決算附属資料	152	頁	
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-	
	R5現在の状況	継続中					
根拠法令等	-						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業	-						

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	だれもが幸せを生きるまちづくりのため、健康推進事業を円滑に運営する。						
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	(株)ケーケーシー情報システム・都築テクノサービス株式会社・旭興産業株式会社						
事業概要 (箇条書き)	・健康推進事業運営に係る一般庁用経費 ・総合健康管理システム経費 ・各種研修経費 ・賠償保険料						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容				
	報酬・職員手当等	4,850	職員報酬・期末手当				
	旅費・需用費	331	研修会等参加旅費・消耗品費・印刷製本費				
	役務費・委託料	3,026	郵送料・システム保守管理・産業廃棄物収集運搬及び処理				
	使用料及び賃借料	268	デジタル複合機賃借料				
	負担金補助及び交付金	126	京都市府市町村保健師協議会負担金、京都市府市町村栄養士研究会負担金等				

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	5,909	4,651	4,658	6,085	
	② 補正予算	2,418	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①~③)	8,327	4,651	4,658	6,085		
予算財源内訳	① 一般財源	7,262	4,651	4,658	6,085	
	② 国支出金	1,065	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	1,296	4,514			
	② 配当予算	9,623	9,165			
	③ 執行額	9,355	8,601			
	④ 執行率	97.2%	93.8%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.27 / 0.00	0.17 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	2,160	1,360			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,515	9,961				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		一般庁用経費のためなし		/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	保健師協議会登録	人	14 / 15	14 / 15	11 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		388.8	668.2	781.9		
	単位あたりコスト		/	31 /	/		

保健衛生一般経費事業(健康医療課)

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	健康推進事業を適切に運営するため、必要最低限の庶務的経費の支出を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	事務用品等の整理や在庫管理を徹底し、必要最低限の支出とした。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	事務用品等の管理を適切に行うことにより、必要最低限の支出で効率的な事業運営を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	一般庁用経費の適切な支出に努め、円滑に健康推進事業を実施できた。		
改善策	引き続き、事務用品の在庫管理等を適切に行い、より効率的な事業運営に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	「健康増進計画推進事業」を統合する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	保健福祉センター維持管理事業				事業コード	410313	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり	
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘	
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費	
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-	
						R5現在の状況	継続中
根拠法令等	-						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業	-						

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	だれもが幸せを生きるまちづくりのため、円滑な健康推進事業の推進に向けて、保健福祉センターを継続して維持管理していく。						
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	(株)三精テクノロジーズ・大槻冷熱設備(有)・(株)姫路ナプロ・福知山市シルバー人材センター・(株)大山産業・(株)丹新ビルサービス						
事業概要 (箇条書き)	各保健福祉センターの施設修繕、機械設備等保守点検業務、施設の維持管理に関する経費						
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容				
	需用費	2,199	清掃用品、水道代等				
	役務費	381	電話代、保険料等				
	委託料	1,089	自動扉・エレベーター等保守管理、清掃業務委託等				
	負担金補助及び交付金	6	危険物安全協会会費				

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	4,903	3,738	4,494	3,714					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0							
小計(①～③)	4,903	3,738	4,494	3,714						
予算財源内訳	① 一般財源	4,619	3,454	4,210	3,436					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	284	284	284	278					
決算情報	① 流充用額	883	386							
	② 配当予算	5,786	4,124							
	③ 執行額	5,352	3,675							
	④ 執行率	92.5%	89.1%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.31 / 0.00	0.31 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	2,480	2,480							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,832	6,155								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料	種類	衛生使用料	実績金額	10	10	決算附属資料	46	頁
		北部保健福祉センター光熱水費		雑入		279				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		一般維持管理経費のためなし		/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	維持管理(清掃)	回	85 / 83	82 / 83	83 / 83	/ 83	83
	単位あたりコスト		42.4	65.3	44.3		
	単位あたりコスト		/	33 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	適切に健康推進事業を実施するため、関係施設を維持していく必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	効率的な施設運営を行うため、必要最低限の経費の支出を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	施設を維持管理していくことで、広域エリアでの健康推進事業を実施できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	施設管理のための必要経費であり、適切な支出を行った。		
改善策	施設維持管理のため、必要最低限の庶務的経費は必要である。 施設の老朽化に伴い修繕箇所が増加傾向にあり、今後、センターの運営に支障をきたさないよう、緊急性等を勘案し、修繕等を行っていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	インフルエンザ予防接種事業				事業コード	410319						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費		会計	01 一般会計	決算附属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	予防接種法、福知山市高齢者インフルエンザ予防接種実施要綱、福知山市障害のある人のためのインフルエンザ予防接種実施要綱											
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	予防接種法に基づき高齢者及び障害のある人がインフルエンザワクチンを接種することにより、インフルエンザを発症又は重症化することを防止することで健康寿命の延伸を図ることを目的とする。											
対象者	接種日において①65歳以上の高齢者②64歳以下で障害のある人	対象者数	23,738		単位あたりコスト	2.8						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	京都府医師会、福知山医師会、市外の協力医療機関											
事業概要 (箇条書き)	【実施方法】委託医療機関でインフルエンザワクチンの接種を受ける。 【対象者】①満65歳以上の高齢者と60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器、HIV感染による免疫機能障害の身体障害者手帳1級保持者 23,014人 ②満64歳以下で身体障害者手帳1級・2級及び療育手帳A保持者 724人 【自己負担金】1,500円 ※無料制度あり 【実施期間】令和4年10月17日～令和5年1月31日											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	報酬・職員手当等・共済費	614	職員報酬・期末手当・共済費負担金									
	需用費	427	消耗品費(色上質紙・PPC用紙等事務用品購入)・印刷製本費(各戸配布用お知らせ・予防接種済証印刷)									
	役務費	236	郵送料・国保連合会支払い手数料									
	委託料	55,843	高齢者・障害のある人へのインフルエンザ予防接種業務の委託料									
扶助費	70	償還払い(委託医療機関以外での接種分)										

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	60,009	60,381	58,537	58,595				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	60,009	60,381	58,537	58,595					
予算財源内訳	① 一般財源	60,009	60,381	58,537	58,595				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	60,009	60,381						
	③ 執行額	57,596	57,190						
	④ 執行率	96.0%	94.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.96 / 0.52	1.07 / 0.28	/	/				
	② 概算人件費	8,980	9,260						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	66,576	66,450							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	インフルエンザ死亡者数	人	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	接種率(高齢者)	%	72.9 / 100	59.9 / 100	59 / 100	60	100
	単位あたりコスト		1949.5	961.5	969.3		
	接種率(障害のある人)	%	78.2 / 100	69.3 / 100	73.7 / 100	75	100
単位あたりコスト		1817.3	831.1	776.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者インフルエンザ予防接種は予防接種法に基づく法令上の業務である。 2019年はインフルエンザによる死者数は3,000人を超えており(厚生労働省統計)、特に高齢者・障害のある人は発症・重症化のリスクが高い為、防止するために必要である。 令和4年度は3年ぶりにインフルエンザが流行期入りし、コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種が可能となった。市民の感染予防に対する意識は高くなってきているが、今後もワクチンによる予防は必要である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者は定期接種のB類疾病、障害のある人は任意の予防接種である為、一定の自己負担は妥当であると考えられる。 市内医療機関以外にも市外で実績のある医療機関に委託し、効率的な接種ができたと考ええる。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスク者に対するワクチン接種は発症予防に有効であるが、インフルエンザは予防接種法では個人の判断に委ねられるB類疾病であることから、接種率は目標を下回っている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のインフルエンザ予防接種事業は法令上の業務であり、継続していく。 障害のある人についても、リスクが高く重症化しやすいため、インフルエンザの発症・重症化を防止し、社会的な流行を防ぐことが重要である。 他市接種における償還払いや無料制度について、問い合わせがあった時は丁寧に説明を行っており、引き続き周知に努める。他市接種は申請、依頼先との調整等で申請から接種までに時間を要する。 障害のある人については、本市で手帳を発行している対象者は障害者福祉課と共有し、個別通知を送付しているが、他市で発行された手帳保持者は把握できないため、本人からの申請により対応している。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 法令上の業務である為、継続して周知を図っていく。 他市接種においては、問い合わせに対しては引き続き丁寧に説明し、スムーズな接種や事後処理ができるようにしていく。また実績のある医療機関には、事前に対象者の有無の確認や無料制度について説明し、該当の場合は、事前に申請をしてもらえよう対応していく。また、接種者数が多い医療機関については個別契約も提案し、接種者にかかる負担を軽減できるようにする。 障害のある人は、今後も継続して障害者福祉課と情報共有し、個別通知を実施。本市に住居票はあるが他市での手帳発行者は本人からの申請が必要であるため、対象者への周知を工夫する。令和4年度から、実績のある施設については事前に電話でインフルエンザ予防接種の希望の有無を確認し、必要であれば申請についての説明を行っている。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	健康危機管理対策事業					事業コード	410323					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり					
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521					
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課				所属長	田和 昌弘					
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費		会計	01 一般会計	決算附属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	食中毒や感染症、その他の原因による健康被害の発生予防・拡大防止を図り、健康危機から市民の生命・健康の安心・安全を確保する。											
対象者	全市民				対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福知山市衛生協会											
事業概要 (箇条書き)	・健康被害の情報の収集・提供 ・関係機関との連絡調整 ・市民・関係事業者等に対する広報・啓発 ・福知山市衛生協会の事業支援											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	112		懸垂幕、感染症防護キット等								
	役務費	8		AED保証期間利用料								
	負担金補助及び交付金	153		福知山市衛生協会補助金								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	558	559	537	750	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①～③)	558	559	537	750		
予算財源内訳	① 一般財源	558	559	537	750	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	558	559			
	③ 執行額	209	273			
	④ 執行率	37.5%	48.8%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10 / 0.00	0.15 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	800	1,200			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,009	1,473				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	集団食中毒発件数	件	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	食中毒注意報発令件数	件	5 / 4	2 / 4	10 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		3181.8	104.5	27.3		
	単位あたりコスト		/	37 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	熱中症・感染症等市民の生命に影響する健康被害に関する予防、社会維持活動等の対策に必要である。 食中毒注意報発令等、市民の健康危機に対し、広報ふくちやまへの掲載、庁内放送、各部署への連絡等の周知活動を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	食中毒注意報発令時には各部署及び京都府と連携が必要であり、組織的対応を効率的に行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	健康被害に関する対策として有効性の高い事業である。 食中毒などの注意を要すべき時期に、広報ふくちやまへの掲載、庁内放送、各部署への連絡等、適切に周知した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	食中毒をはじめとした健康被害に対し適時適切に広報、啓発を行い、健康被害の発生予防・拡大防止を図ることができた。 近年は、国から新型コロナウイルス感染症に係る感染対策物品の提供を受けており、それらを有効に活用したことにより、令和4年度は執行率が低率となった。		
改善策	安心・安全なまちづくりを進めていくため、身近な健康危機である食中毒注意報発令時に適切に周知活動を実施していく。 コロナ禍明けより、地域での活動が活性化中、従来にも増して、啓発等を強化していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	成人保健事業				事業コード	410326						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算附属資料	162	頁
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	健康増進法・福知山市健康教育実施要領・福知山市健康手帳交付事業交付要綱・機能訓練事業実施要領・国民の健康づくり地方推進事業実施要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	健康増進計画推進事業・高血圧制圧のまちプロジェクト事業・アクティブシティ推進事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市民が健康で長生きできるための施策の一つ。教室や相談などを通して、生活習慣病予防の知識を普及させ、市民自らが健康づくりに取り組めるよう支援することで、QOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。											
対象者	概ね20歳以上の市民(但し業務によっては40～64歳の市民)			対象者数	40,000		単位あたりコスト	0.4				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 負担金支出											
委託先・実施主体等	市立福知山市民病院(理学療法士等派遣)											
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 健康手帳交付:健康の保持増進のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に役立てるよう支援。 健康教育:市民及び家族を対象に疾病、生活習慣病予防のための教室を開催する。 健康相談:各保健福祉センター及び公民館等で健康に関する相談に応じ、助言を行う。 訪問指導:専門職が家庭を訪問し、健康に関する指導及び助言を行う。 機能訓練事業:40～64歳の心身の機能障害や低下が危惧される人に対し、個人の課題に沿った体操や療法士による個別体操の指導・助言、全員でレクリエーション等を行う。 											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	報酬・職員手当等・共済費	2,400		職員報酬・期末手当・共済費負担金								
	報償費・旅費	203		講師謝礼・講師招へい旅費								
	需用費・役務費	922		消耗品費・印刷製本費・燃料費・修繕料・郵送料・自動車損害賠償保険料・法定点検手数料								
	使用料及び賃貸借料	205		公用車賃貸借料・施設使用料								
	負担金補助及び交付金・公課費	449		理学療法士等派遣負担金・自動車重量税								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,527	4,687	2,456	2,693				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	4,527	4,687	2,456	2,693					
予算財源内訳	① 一般財源	3,805	3,965	1,730	1,967				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	722	722	726	726				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 21						
	② 配当予算	4,527	4,666						
	③ 執行額	3,279	4,179						
	④ 執行率	72.4%	89.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	1.78 / 0.54	1.45 / 0.64	/	/				
	② 概算人件費	15,590	13,200						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,869	17,379							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	健康増進事業	種類	衛生費府補助金	実績金額	726	決算附属資料	28	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	40～64歳の健康教室参加率	%	7.1 / 25	3.5 / 25	7.5 / 25	/ 10	25
40～64歳のがん検診精密検査の受診率	%	91.3 / 100	91.7 / 100	87.4 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	健康相談被指導延人数	人	1378 / 2500	1331 / 2500	1864 / 2500	/ 1900	2500
	単位あたりコスト		2.5	2.5	2.2		
	単位あたりコスト		/	39 /	/	/	成人保健事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進法に基づいて実施。 健康手帳の交付により、市民自らが健康管理のツールとして活用できる。 健康教育や相談の実施は、市民の健康意識を高め、健康管理を行うことで医療費の削減にもつながるため事業の必要性は高い。 機能訓練事業は法令事業の狭間にある年齢層を対象とした取組みとして市独自事業で実施している。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 健康手帳は、高齢者の利用が多いため希望者に活用のしやすいノート型手帳を交付した。 健康教育は、感染予防対策を行い、40～64歳の参加が増えるよう、内容を工夫して実施。またLINEやホームページでの広報、WEB申込みを取り入れ、気軽に参加できるよう工夫した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果実績としている健康教室参加率、がん精密検査受診率は、生活習慣の改善や疾病の早期発見・治療につながり、ひいては健康寿命の延伸、医療費の削減にもつながるものである。 健康教育や機能訓練教室については、事業実績の集計と教室終了後にアンケートをとり、質的な変化の把握を行った。参加前にくらべ、健康意識が高くなったと回答する参加者が多数を占めており、有効的であると考ええる。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育は、主に集団での実施となる。R4年度はコロナ感染拡大防止対策を講じながらの教室実施となり、参加者が少ない教室もあったが、前年度より参加率が増加した。 成人保健事業は市民が疾病予防・健康増進に関する知識を身につけ、健康管理ができるよう支援するために実施するものである。このことから、市民自らが健康管理・疾病予防や健康づくりに取組むため、当該事業で各取組みの利用総数を増加させる必要がある。 健康相談のうち定例健康相談の40～64歳の利用率は低く、高齢者の利用が多い。 特に40～64歳の若い世代からの利用を促し、高齢期に至っても継続的に支援しながら健康寿命の延伸を図る必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進事業としての健康教育は、対象年齢を下げて実施するとともに、LINEなどのSNSの活用やWEB申込みなど、対象者に合わせた広報・周知を行う。 各センターごとの月1回の定例健康相談とあわせて、電話・訪問・来所・健診結果返しによる相談・指導を継続して実施し、40～64歳の利用者の行動変容に結びつける。 精密検査未受診者に対しては、早いタイミングで電話や手紙で受診勧奨を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	前立腺がん検診事業					事業コード	410329				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521				
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課				所属長	田和 昌弘				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	健康増進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	がん対策基本法、福知山市がん検診等事業実施要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	がんは本市の死亡原因の第1位であり、市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、がん検診を受診することで、予防に対する知識の普及を図るとともに自覚がないうちの早期発見・早期治療を行うことで、QOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。										
対象者	50歳以上の市民(男性)				対象者数	18,280		単位あたりコスト	0.3		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山医師会、京都予防医学センター										
事業概要 (箇条書き)	実施方法 問診・血液検査(前立腺特異抗原:PSA値) 【集団】保健福祉センターや地域公民館(9~12月:事前申し込み制) 【個別】市内の委託医療機関(5~12月) 検診自己負担金:200円(無料制度あり)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	需用費	28			消耗品費、印刷製本費、燃料費						
	役務費	1			郵送料						
	委託料	2,356			前立腺がん検診業務委託料(個別検診・集団検診)						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,155	3,122	3,070	2,898				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	3,155	3,122	3,070	2,898					
予算財源内訳	① 一般財源	3,143	3,111	3,062	2,890				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	12	11	8	8				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	3,155	3,122						
	③ 執行額	2,229	2,385						
	④ 執行率	70.6%	76.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.44 / 0.05	0.43 / 0.01	/	/				
	② 概算人件費	3,645	3,465						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,874	5,850							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	検診等自己負担金	種類	雑入	実績金額	6	決算附属資料	46	頁

IV 業績指標

※R5.5.29精検受診者数の更新により、最新データに更新の結果、数値を最新に変更

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	がん発見人数	人	9 / 12	14 / 12	8 / 12	/ 12	12
要精密検査受診率	%	73.8 / 100	87.1 / 100	75 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	検診受診率	%	8.6 / 10	8.8 / 10	8.5 / 10	/ 10	15
	単位あたりコスト		259.0	253.3	280.6		
	単位あたりコスト		/	41 /	/	/	前立腺がん検診事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> がん対策基本法に基づく業務である。 前立腺がんは男性の罹患数第1位であり、早期発見・早期治療をすると5年生存率が一番高いがんであるため、事業の必要性は高い。国が推奨するがん検診には含まれていないが、地区医師会と協議し、市民にとって必要な検診であると判断し、R4年度も実施した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 健(検)診の受診方法や曜日、場所に選択肢を設け、市民自ら受診方法を選択することができた。また1日ですべての検診を受診できる日を設定することで、効率的な検診ができた。 検診受診を有効なものにするため、要精検者には精検受診勧奨を書面、電話等でを行い精検受診率の向上を図った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 検診を受診し、前立腺がんの早期発見・早期治療を行うことで、市民にとって健康で自立した生活に繋がるだけでなく、本市にとっても医療費の削減へつなげるため、受診率、がん発見率を成果実績としている。 新型コロナウイルス感染症の影響により、受診者数は令和元年度から低下しているが、令和4年度も前立腺がんが発見され早期治療に繋がった。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>健康日本21および福知山市健康増進計画において、【健(検)診】を重点項目の一つとして掲げている。また、受診率向上を目的にSNSや健康教室イベントなどにおいて検診受診の啓発を行っている。実施体制としては、様々な検診が一度に受診できる集団検診や休日健診、かかりつけの医療機関で受診できる個別検診など、市民が受診しやすいように工夫している。また、コロナ禍においても、安心して受けられるように、感染症対策もしっかりとれている。受診率は低下しているものの毎年前立腺がんが発見され、早期発見・早期治療にもつながっており、一定の評価はできる。課題としては、さらに受診率を向上させていく必要があり、また精密検査受診率についても同様である。</p>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 各種媒体を用いた広報、周知を継続していく。 血液検査であり、がん検診としては受診しやすいため、特定健診申込者に同時受診勧奨を行う。 精検受診勧奨に関しては、早期から、書面・電話・訪問など様々な勧奨方法で勧奨を行う。勧奨時には、受診の必要性に関する説明と併せて、精検依頼票の所持の有無や受診方法の確認等、丁寧な対応を心掛け、受診行動につなげる。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	胃がん検診事業				事業コード	410330						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和昌弘						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算附属資料	164	頁
計画期間	開始年度	昭和37年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	健康増進計画		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市の死亡原因の第1位はがんである。平成25～29年度の福知山市における胃がん標準化死亡率は男性93.2、女性94.6と、全国より低い水準にある。啓発を含めたがん検診事業を実施することにより、予防に対する知識の普及を図るとともに自覚症状がなくても早期発見、早期治療につなげることで、死亡比が低い水準を維持する。											
対象者	・X線検査または内視鏡検査:50歳以上で偶数年齢の市民 ・血液検査:20、25、30、35、40、45、46、47、48、49歳の市民			対象者数	27,574		単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	京都予防医学センター、福知山医師会											
事業概要 (箇条書き)	【実施方法・内容】①X線検査(間接撮影法) ②内視鏡検査:直接胃がんを発見する方法 ③血液検査(ペプシノゲン、ヘリコバクターピロリ):胃がんの発生と密接に関係する萎縮性胃炎を判定する方法(平成19年度から導入) ※①:集団検診のみ ②個別検診のみ ③集団・個別検診 【自己負担金】①X線検査(間接撮影法)(70歳以上は無料) ②内視鏡検査:3,000円(70歳以上は1,500円) ③血液検査:500円 ※いずれも無料制度あり 【対象者】①X線検査②内視鏡検査:50歳以上 ③血液検査:20.25.30.35.40.45.46.47.48.49歳											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	17		消耗品費、印刷製本費、燃料費								
	役務費	213		郵送費								
	委託料	4,635		胃がん検診業務委託料(個別検診・集団検診)								
	使用料及び賃借料	46		自動車借上料								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,249	7,696	7,569	8,019				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	8,249	7,696	7,569	8,019					
予算財源内訳	① 一般財源	7,954	7,557	7,490	7,929				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	20	19	24	28				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	275	120	55	62				
決算情報	① 流充用額	△ 1,760	△ 1,205						
	② 配当予算	6,489	6,491						
	③ 執行額	5,044	4,911						
	④ 執行率	77.7%	75.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.49 / 0.05	0.55 / 0.04	/	/				
	② 概算人件費	4,045	4,500						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,089	9,411							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村休日総合がん検診支援事業費補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	27	28	46	頁
		検診自己負担金(胃がん検診)		雑入		47			

IV 業績指標

※赤字は令和5年時点で更新したものを示す

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	がん発見人数	人	1 / 2	3 / 2	1 / 2	/ 2	2
要精密検査受診率	%	93.5 / 100	100 / 100	95.8 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	検診受診率	%	1.95 / 2.2	1.88 / 2.2	1.4 / 2.2	/ 2.2	3
	単位あたりコスト		2778.5	2683.0	3507.9		
	単位あたりコスト		/	43 /	/	/	胃がん検診事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>がん対策基本法に基づいて実施。 胃がん検診及び受診啓発を実施することで、市民自らが健康に対する意識を高め、胃がんの早期発見・早期治療に繋がるため事業の必要性は高い。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>様々な検診が一度に受診できる集団検診の実施、休日検診の実施など、市民が受診しやすいよう工夫している。胃ABC検診(血液検査)については令和3年度から市内7か所の医療機関で受診できる個別検診を新たに導入した。全体の受診者のうち約半数が医療機関で受診しており、より多くの市民の受診機会を確保できた。年代をしばって胃内視鏡検診の必要性を啓発し、受診勧奨を実施した。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>胃がん検診による早期発見・早期治療は、市民にとって健康で自立した生活に繋がり、さらに本市にとって医療費削減に結びつくため、受診率、がん発見者数を成果実績としている。 精密検査受診率向上を目指し、未受診者に電話による受診勧奨を実施。慢性胃炎などの疾患が発見され治療に繋がった。 令和2年度より精度の高い胃内視鏡検診を導入し、年々受診者数は増加している。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>健康日本21の目標項目として「がん検診の受診率向上」が掲げられ、福知山市健康増進計画において、【健(検)診】を重点項目の1つとして掲げている。胃がん検診の受診率向上のために、健康教室やイベント、SNSを活用した受診啓発を行っている。また、様々な検診が一度に受診できる集団検診の実施や休日検診の実施、胃ABC検診(血液検査)においては医療機関で受診できる個別検診の導入など、市民が受診しやすいよう工夫している。 また、毎年胃部疾患が発見されており、早期発見・早期治療、医療費の削減に繋がっており、一定の評価はできる。 しかし、受診率が1.40%と低いことが課題として挙げられるため、がん検診受診勧奨の内容を見直し、胃内視鏡検診に限っては年代をしばってハガキによる受診勧奨を実施したことにより、受診者数は増加した。</p>		
改善策	<p>市民が自らの健康に対する意識を高め、がんの早期発見・早期治療や医療費の削減に繋げるためにも、受診率向上を図る必要がある。 集団検診申込み時に対象年齢に応じたがん検診の受診を勧めることや、SNSの活用及び個別のお知らせによる積極的な受診勧奨を行っていく。また、市民目線でわかりやすい案内文や受診勧奨資料を作成し、受診率向上を図る。令和4年度はがん検診受診勧奨の内容の見直しにより、内視鏡検査では受診率が上昇したが、胃ABC検診単独の受診勧奨をしなかったため、受診率が減少した。次年度からは胃ABC検診についても個別勧奨を積極的に行い、今後の継続的な受診につなげていく。 50歳以上の偶数年齢の人は、X線検診と内視鏡検診のどちらかを選択して受診できるが、今後、X線検診を縮小していき、より精度の高い内視鏡検診へと移行させていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大腸がん検診事業				事業コード	410331						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算附属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	健康増進計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市の死亡原因の第1位はがんである。がん検診を実施することにより、予防に対する知識の普及を図るとともに自覚症状がなくても早期に発見し、早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。											
対象者	40歳以上の市民			対象者数	47,082		単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福知山医師会、京都予防医学センター											
事業概要 (箇条書き)	【実施方法】問診・免疫便潜血2日法 個別：市内の委託医療機関(5月～12月) 集団：保健福祉センターや地域公民館(9月～12月) 【自己負担金】300円(無料制度あり)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	報酬・職員手当等・共済費	510		職員報酬・期末手当・共済費負担金								
	需用費	215		消耗品費(PPC用紙、検便容器)、燃料費(ガソリン代)、印刷製本費(問診・結果票、受診勧奨圧着はがき)								
	役務費	233		郵送料								
	委託料	2,831		大腸がん検診業務委託料(個別検診・集団検診)								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,015	4,299	3,905	3,777				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	4,015	4,299	3,905	3,777					
予算財源内訳	① 一般財源	3,894	4,281	3,818	3,688				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	22	18	24	26				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	99	0	63	63				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	4,015	4,299						
	③ 執行額	3,637	3,789						
	④ 執行率	90.6%	88.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.35 / 0.33	0.38 / 0.25	/	/				
	② 概算人件費	3,625	3,665						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,262	7,454							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村休日総合がん検診支援事業補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	26	決算附属資料	28	頁
		検診等自己負担金(大腸がん検診)		雑入		59		46	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	がん発見人数	人	8 / 12	15 / 12	7 / 12	/ 12	12
要精密検査受診率	%	87.3 / 100	85.2 / 100	82.4 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	検診受診率	%	6.1 / 6.5	6.4 / 6.5	6 / 6.7	/ 6.7	7
	単位あたりコスト		537.7	568.3	631.5		
	単位あたりコスト		/	45 /	/	/	大腸がん検診事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> がん対策基本法に基づいて実施。 大腸がんは部位別がん死亡数で、男女ともに上位のため、国ががん検診を推奨している。 大腸がん検診及び受診啓発を行うことで、市民自らが健康に対する意識を高め、大腸がんの早期発見・早期治療に繋がるため事業の必要性は高い。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 集団検診と個別検診(30医療機関)で実施しており、受診者が受診場所を選択できる。また、休日にも受診できる体制をとっている。 検診申し込み方法は、郵送・FAX・電話の他、WEBでもできるように体制をとっている。 年代を絞って検診受診勧奨のハガキを送り、検診受診率の向上に努めた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 大腸がん検診による早期発見・早期治療は、市民にとって健康で自立した生活に繋がっており、本市にとっては医療費削減に結びつくため、がん発見人数、精密検査受診率を成果実績としている。 検診受診率、精密検査受診率ともに目標に達していないが、個別通知や電話などで受診率向上に努めており、令和4年度もがんが発見された。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>毎年大腸がん、特に早期がんが発見され治療につながっており、一定の評価ができる。大腸がん検診の受診率向上のために、イベント時や各事業所へ受診啓発を行うなどしている。また、実施方法としても、様々な検診が一度で受診できる集団検診の実施や休日検診の実施など、市民が受診しやすい工夫している。新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えもあるが、安心して受診できるように感染症対策をしっかりとっている。大腸がんは早期発見・早期治療で95%以上の人が治癒するといわれているため定期検診が重要であり、受診率の向上と毎年の受診を定着させることが課題である。</p>		
改善策	<p>より多くの方に受診していただくため、個別検診では他の健(検)診とセットで受けられることを積極的に案内していただくよう医療機関に依頼している。集団検診では特定健診等の申し込み時にセットで受診可能なことを案内し、受診を促す。精検受診については、早期から個別通知や電話での勧奨を行い、精検受診率の向上を目指す。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	肺がん・結核検診事業				事業コード	410332						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算附属資料	164	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	健康増進計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱、感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律											
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協働実施)											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	肺がんは、日本人のがんによる死亡数の第1位である。肺がん検診を実施することにより、予防に対する知識の普及を図るとともに自覚症状が無くても早期に発見し、早期治療につなげ、肺がんによる死亡者数を減少させることに結びつける。また、感染症である結核のハイリスク者層(高齢者)を対象に結核検診を同時に実施することにより、結核の早期発見、蔓延防止につなげる。											
対象者	40歳以上の市民、65歳以上は結核検診を兼ねる			対象者数	47,082		単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	京都予防医学センター、京都府医師会											
事業概要 (箇条書き)	【実施方法】問診・胸部X線デジタル撮影 保健福祉センターや地域公民館、地域の公民館で巡回検診を実施 どちらも予約制 【自己負担金】無料 ただし、喀痰検査は500円(無料制度あり)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	32		消耗品費・燃料費								
	役務費	128		郵送料								
	委託料	5,254		肺がん検診業務委託料(集団検診)								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,373	7,012	6,502	7,354				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	8,373	7,012	6,502	7,354					
予算財源内訳	① 一般財源	8,339	6,978	6,472	7,322				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	14	19	20	22				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	20	15	10	10				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	8,373	7,012						
	③ 執行額	5,455	5,414						
	④ 執行率	65.1%	77.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.47 / 0.05	0.48 / 0.01	/	/				
	② 概算人件費	3,885	3,865						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,340	9,279							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市町村休日総合がん検診支援事業補助金	種類	衛生費府補助金	実績金額	22	決算附属資料	28	頁
		検診等自己負担金(肺がん検診(喀たん))		雑入		3		46	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	がん発見人数	人	2 / 2	2 / 3	0 / 2	/ 2	2
要精密検査受診率	%	97.6 / 100	93.3 / 100	95.2 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	受診率	%	3.3 / 4.1	3.1 / 4.5	3 / 4.5	/ 4.5	4.5
	単位あたりコスト		1766.4	1759.7	1804.7		
	単位あたりコスト		/	47 /	/	/	肺がん・結核検診事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> がん対策基本法、感染症法に基づいて実施。 肺がんはがんによる死亡数第1位であり検診による早期発見・治療の必要性は高い。65歳以上については結核検診を兼ねているため、結核感染症まん延防止の点からも重要な事業である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 土日の検診実施、協会けんぽや市内コンビニとの連携、肺がん検診のみ受診できる地域の公民館等での巡回検診実施など、受診しやすい工夫した。 肺がん検診のみ受診を希望する人は集団検診ではなく巡回検診を受けるよう勧め、総受診者数の増加に努めた。 受診率向上のために自治会長などと連携をとり、有線放送で広報を行ったり、自治会文書にてチラシの回覧を依頼した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 肺がん検診による早期発見・早期治療は、市民にとって健康で自立した生活につながるほか、本市にとっても医療費削減となるため、がん発見人数、要精密検査受診率を成果指標としている。 ほぼ毎年がん確定者が出ており、検診の有効性は高いと考える。精密検査受診率を100%にするため、要精密検査者については対面で結果を返し、受診の必要性について説明した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ毎年がんが見つかり、がん確定者の治療後の生活を考えると有益である。また、本市にとっても医療費の削減につながっている。 自治会を通した受診勧奨の実施など、受診者数の増加に向けた取り組みは行っているが、毎年受診者は減少しており、その要因として令和3年度より検診日程が減少したことや、冬季の実施による天候・寒さによる受診控えが考えられる。精密検査受診率は90%以上であるが、目標の100%には到達していない。 実施時間の関係で申し込み可能な人数に限りがあり、申込があっても受け付けられないケースや、当日までにキャンセルが相次ぎ、結果として受診者数が減少した。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地域の巡回検診は会場を小学校区としているが、旧町エリアで送迎を行うなど、希望する人が受けられる体制を維持しながら継続する。 実施時期は冬季を避け、巡回検診では申し込みの多い会場での実施時間を延ばすなどの調整を行い、受診者数の増加に努める。 精密検査受診率を100%にするために結果返却時に丁寧に説明をすることや、未受診者には電話での受診勧奨を行う。 キャンセル待ちの名簿を作成するなど、定員数が確実に受診できるようにする。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	女性のためのがん検診推進事業				事業コード	410361						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算附属資料	166	頁
計画期間	開始年度	昭和62年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	健康増進計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	女性のがん罹患率において、乳がんは1位、子宮がんは5位と上位を占めている。対象年齢の女性に対し、乳がん検診、子宮がん検診を実施することで、予防に対する知識の普及を図るとともに自覚症状がなくても早期発見し早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることにつなげる。											
対象者	①子宮がん検診:20歳以上の奇数年齢 ②乳がん検診:40歳以上の奇数年齢			対象者数	27,937			単位あたりコスト	1.1			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 負担金支出											
委託先・実施主体等	子宮がん検診:京都府医師会、京都予防医学センター 乳がん検診:福知山市医師会、綾部市立病院、京都予防医学センター 乳がん検診機器整備:京都ルネス病院											
事業概要 (箇条書き)	・子宮頸がん:産婦人科検診、組織診 ・乳がん:マンモグラフィ検診 ・対象者数:①子宮がん検診15,685人 ②乳がん検診12,252人 ・子宮がん検診は満20歳、乳がん検診は満40歳の人に無料クーポン券を送付(5月末) ・無料クーポン券対象者のうち、未受診者には受診勧奨文を送付(10月頃) ・実施方法:【集団】保健福祉センターや地域公民館(事前申込制) 【個別】市内の委託医療機関(乳がんは綾部市立病院も、子宮がんは府内の委託医療機関) ・健診自己負担金:①子宮がん検診 700円 ②乳がん検診 40歳代1,000円 50歳以上700円(無料制度あり)・前年度、特別な理由により未受診の人への特別措置あり											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	報酬・職員手当等・共済費	448	職員報酬・職員期末手当・共済費									
	需用費	701	消耗品費・印刷製本費									
	役務費	275	郵送料									
	委託料	22,110	子宮がん・乳がん検診業務委託料(個別検診・集団検診)									
負担金補助及び交付金	831	乳がん検診に必要な機器整備にかかる補助金、子宮がん検診データ提供システム運用に関する負担金										

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	22,151	23,357	24,930	25,398						
	② 補正予算	0	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0								
小計(①~③)	22,151	23,357	24,930	25,398							
予算財源内訳	① 一般財源	21,359	22,474	24,267	24,212						
	② 国支出金	298	238	238	705						
	③ 府支出金	125	118	120	166						
	④ 地方債	0	0	0	0						
	⑤ その他特財	369	527	305	315						
決算情報	① 流用額	1,760	1,205								
	② 配当予算	23,911	24,562								
	③ 執行額	23,757	24,365								
	④ 執行率	99.4%	99.2%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員・非常勤職員)	0.77 / 0.22	0.75 / 0.03	/	/						
	② 概算人件費	6,710	6,075								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	30,467	30,440									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	疾病予防対策事業費等補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	253	18	決算附属資料	28	46	頁
		市町村休日総合がん検診支援事業費補助金		衛生費府補助金		123					
		乳・子宮自己負担金		雑入		293					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	がん発見人数(乳・子宮)	人	4/5 / 0/2	5/5 / 0/2	5/5 / 0/2	/ 5・2	5・2
	要精密検査受診率(乳・子宮)	%	98.2/100 / 90.2/100	100/100 / 87.9/100	98.0/100 / 92.1/100	/ 100・100	100・100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	受診率(乳)	%	/	9.9 / 12	10.9 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト			2399.7	2235.3		
	受診率(子宮)	%	/	10.8 / 12	10.2 / 12		
	単位あたりコスト			2199.7	2388.7		

女性のためのがん検診推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>がん対策基本法に基づいて実施。 乳がん、子宮がんともに女性のがん罹患者数が上位であり、検診による早期発見・早期治療は重要である。実際に令和4年度もがん確定者があり、市民が健康で自立した生活の継続のために必要な事業である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 子宮がん検診では、市内以外の府内医療機関でも受診可能。 乳がん検診は、市内の医療機関に加え、市民の生活圏域である綾部市でも受診できるように、令和3年度から綾部市立病院と個別契約を締結している。 府内や生活圏域でも受診できることは市民にとって効率的であると考ええる。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 検診により、早期発見・早期治療ができることは市民にとっても健康で自立した生活につながり、医療費削減にもつながるため、がん発見人数、精密検査受診率を成果指標にしている。 実際に乳がん検診でがん確定者が見つかった。 乳がん検診では実施医療機関の医師と技師が集まって二次読影会を実施しており、必要であれば三次読影も行うため、高い精度での検診が実施できている。また、年度末には症例検討会を実施し、読影医や検査技師が集まって1年間の症例を見直している。それらが適切に実施できるよう、準備や調整を行った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 乳がん検診は受診者数も前年度と比較して増加し、受診率もコロナ禍前と比較して上昇している。子宮がん検診の受診者数は減少の見込みであり、継続して受診勧奨を行う。 乳がん検診においては日頃からの自己検診等、乳房を意識することが重要であるが、受診者の自己検診実施率は40%である。 乳がん検診においては毎年数人のがんが見つかり、精密検査受診率も高くほぼ毎年100%であるが令和4年度は未受診が1人あった。 子宮がん検診については、過去5年間では2人のがんが見つかった。その他婦人科疾患等も検診で見つかり、治療につながっている。 子宮がん検診実施医療機関より、隔年受診を知らない人が多いとの意見があった。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 乳がん、子宮がん検診ともに隔年受診であることを浸透させるために、かわら版や広報で周知をするとともに、問い合わせがあれば丁寧に説明をし、受診可能な時期や受診後の対応についても理解を深めていただくよう努める。 精検受診率は今後も100%を目指し、未受診勧奨を行う。 日頃からの乳房を意識した生活(プレスト・アウェアネス)の推進が重要であることから、受診者に渡す案内文にこうしたポイントを盛り込み、ホームページや掲示するポスターでも啓発を行う。 受診者数の増加のためには個別勧奨が有効であり、引き続き実施していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	健康増進計画推進事業					事業コード	410363					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算附属資料	166	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	健康増進法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	アクティブシティ推進事業、高血圧制圧のまちプロジェクト事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市の健康増進施策の指針である福知山市健康増進計画に基づき、市民が健康づくりに主体的に取り組み、すべての市民が健康でいきいきとした生活を送ることができるように各種事業を推進する。											
対象者	全市民			対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福知山市健康づくり推進協議会開催のための事務的経費											
事業概要 (箇条書き)	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容							
	報酬・職員手当等		1,446		臨時職員報酬等							
	報償費		49		出務謝礼							
	需用費		276		消耗品費							
	役務費		204		郵送料							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,580		2,735		317		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)	2,580		2,735		317		0					
予算財源内訳	① 一般財源	2,580		2,735		317		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		△ 21								
	② 配当予算	2,580		2,714								
	③ 執行額	1,769		1,975								
	④ 執行率	68.6%		72.8%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	1.19 / 0.51		1.00 / 0.45		/		/				
	② 概算人件費	10,795		9,125								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,564		11,100									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	事務的経費のためなし			/	/	- / -	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	健康づくり推進協議会開催	回	/	/	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト				1975.0		
	単位あたりコスト		/	51 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市民一人ひとりが希望や生きがいをもち、健やかで心豊かに生活できるまちづくりのため策定された第二次福知山市健康増進計画の進捗状況の確認や意見交換するための事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	令和5年度から計画に位置付けた各種事業で予算を計上し、本事業としては、健康づくり推進協議会開催に係る必要経費のみとした。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	福知山市健康づくり推進協議会を開催し、計画についての意見を交わし、第二次福知山市健康増進計画を策定した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和4年度に策定した第二次健康増進計画を踏まえ、各種計画事業を推進している。令和5年度は健康づくり推進協議会を開催し、取り組み状況の進捗報告、確認を行うこととしている。		
改善策	健康増進計画のスムーズな推進を図るべく、福知山市健康づくり推進協議会を開催し、健康づくりの課題などについて協議を重ねていきたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	庶務的経費(健康づくり推進協議会の運営経費)のみで構成される予算事業のため「保健衛生一般経費事業(健康医療課)」と統合する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	アクティブシティ推進事業				事業コード	410371						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算附属資料	166	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市健康増進計画											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	高血圧制圧のまちプロジェクト事業・健康増進計画推進事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民の身体活動(運動やスポーツなど)を盛んにすることで、アクティブ(活動的・能動的)でウェルビーイング(心的・身体的・精神的な充足感が満ちている)な地域を形成し、誰もが心身ともに健やかで豊かな生活を送ることができるまち「アクティブシティ」の実現に向け、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、市民団体、民間企業などと協働して事業展開する。											
対象者	全市民			対象者数	76,000			単位あたりコスト	0.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社イーウェル・福知山まちづくり株式会社・株式会社レントオール福知山											
事業概要 (箇条書き)	・健康増進のきっかけ作りとしてアプリ「福知山KENPOS」の新規導入・運用。 ・市民団体等参画のアクティブシティ推進市民会議を開催。 ・市内の関係課(室)でアクティブシティ戦略会議を開催(15部署)。 ・福知山市アクティブシティ推進事業補助金の開始 ・福知山マラソンプレイベント及び官民協働事業として、「アクティブフェスタふくちやま2022」を開催。*成果実績の項目を「要介護認定率」から「平均自立期間」へ変更(R4)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	報償費	130	アクティブシティ市内戦略会議Web研修会講師謝礼、アクティブフェスタふくちやま2022ランニング教室講師謝礼									
	需用費	498	福知山KENPOSアプリ啓発チラシ印刷料、事業啓発グッズ作成等消耗品、事務用品									
	役員費、使用料及び賃借料	159	郵送料、両丹新聞広告掲載料、イベント会場使用料、高速道路通行ETC使用料									
	委託料	7,201	福知山KENPOSアプリ導入・運用業務委託料、「アクティブフェスタふくちやま」イベントに係る企画運営業務等委託料									
負担金補助及び交付金	3,006	アクティブシティ推進事業補助金(2事業分)、KENPOS交換ポイント利用料										

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,863	20,044	17,287	18,177				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	9,863	20,044	17,287	18,177					
予算財源内訳	① 一般財源	0	11,872	12,894	13,339				
	② 国支出金	0	7,000	0	0				
	③ 府支出金	4,931	1,172	4,393	4,838				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	4,932	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	9,863	20,044						
	③ 執行額	6,510	10,994						
	④ 執行率	66.0%	54.8%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.43 / 0.10	0.75 / 0.40	/	/				
	② 概算人件費	3,690	7,000						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,200	17,994							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	アクティブシティ推進事業(地方創生臨時交付金)	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	2,540	決算附属資料	18	頁
		アクティブシティ推進事業(きょうと地域連携交付金)		衛生費府補助金		2,227		28	
		アクティブポイント負担金		雑入		217		50	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標	
	平均自立期間(男性/女性)	歳	0 / 0	79.7/83.3 / -	79.9/83.5 / 79.24/83.28	/	79.38/83.46	R8年度:男性79.8歳 女性84歳
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標	
	アクティブシティ推進市民団体	団体	0 / 0	5 / 5	6 / 6	/	7	R8年度に10団体
	単位あたりコスト		0.0	1302.0	1832.3			
	* 福知山KENPOSアプリ登録者数	人	0 / 0	53 / 0	3647 / 2000	/	6000	R8年度に10,000人 アクティブシティ推進事業
単位あたりコスト		0.0	0.0	3.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 日常のウォーキングや活動記録、教室や健診受診でポイントが貯まる市独自のアプリを新たに導入し、比較的幅広い年代層の登録があった(3,500人以上)。紙ベースのポイント事業で参加の少ない働き世代の登録が多くなっている。 健康に関する現状や課題等を共有して問題解決につなげていくため、企業や市民団体との協働が必要であることから、市民団体等との交流の場を持ち、活発な意見交換を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 庁内戦略会議を適宜開催し、課題の共有、新たな事業展開に向けた検討を重ね、複数課で連携したウォーキングイベントを開催できた。民間事業者や市民団体の強みを生かした内容となり、幅広い世代が楽しく参加できるイベントとして好評であった。(参加者約1,100人)。 福知山KENPOSのポイントは市独自キャッシュレス決済「ふくぼ」で活用できるものとした。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は、個々の身体的活動を数値で示すことが困難であることから、まちづくり構想と合わせて、「平均自立期間」とした。 アプリ導入初年度で、予想を上回る登録者数となった(3,500人以上)。今後、継続利用を促進することで、生活習慣の改善につなげるとともに、新たな登録者獲得に向けた取り組みが必要。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 新たに日常のウォーキングや活動記録、教室参加や健診受診でポイントが貯まる市独自のアプリを導入し、比較的幅広い年代層の登録があった。初年度3,500人を超えたが、10、20歳代登録者が比較的少ない。今後も継続利用を促進し、楽しみながら健康増進につながる仕掛けづくりを行うとともに、利用者のデータ分析や新規登録者の獲得に向けたアプローチが必要と考える。 庁内戦略会議を随時行うことで、庁内他部署の理解や協力が得られやすく、お互いに考え取り組めるようになった。他部署とも連携し、官民協働事業のイベントができたのは、一定の成果といえる。他部署のイベントやウォーキング企画の時期が集中する状態となったことは改善点である。 市民会議については、昨年度以上に市の現状や各団体の情報共有ができ、協働事業にもつなげることができた。今後は、新たに賛同いただく団体への働きかけを行いながら、新たな事業展開に向けた議論を深めていく必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> アプリ福知山KENPOSの活用拡大の検討(ポイント付与事業の拡大、ポイント利用の拡大、各種機能を活用したデータ分析等) (仮称)アクティブシティ推進アドバイザーを迎え、運動やスポーツの教室・動画配信等の企画を依頼、幅広い年代層への普及啓発活動を行う。 定期的に戦略会議を開催し、庁内でアクティブシティ推進の取組を浸透させる。また、アクティブシティ推進に関わるイベント等は、適宜、時期や内容を見直しながら、アプリを活用するなどの工夫を加え、他課と協働で実施する。 幅広く企業・団体にもヒアリング等を行い、民間事業者同士ができる健康づくりや市民協働での取組が広がるような仕掛けづくりを行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、幅広い世代に向けたアプリの普及啓発を行う。 推進市民会議での意見交換等をより活性化させ、民間事業者等と実施する新たな事業展開を検討する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	高齢者の肺炎球菌ワクチン接種事業					事業コード	410378				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521				
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課				所属長	田和 昌弘				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費	会計	01 一般会計	決算附属資料	158	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	予防接種法、福知山市高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業実施要綱										
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、ワクチン接種を行い肺炎の予防と重症化を防ぐことで、健康寿命の延伸を図ることを目的とする。										
対象者	65・70・75・80・85・90・95・100歳の市民で予防接種未接種かつ接種を希望している者				対象者数	3,504		単位あたりコスト	2.5		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	京都府医師会、福知山医師会、市外の協力医療機関										
事業概要 (箇条書き)	【実施方法】委託医療機関で肺炎球菌ワクチンを接種する。 【対象者】上記対象者のほか、60歳から65歳未満の人であって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するものとして厚生労働省に定める人(身体障害者1級の手帳保持者、又は同程度の者と医師の診断書で確認できる人) 【自己負担金】4000円(生活保護世帯・市民税非課税世帯は無料) 【実施期間】令和4年4月1日～令和5年3月31日(予防接種施行令の改正により、令和6年3月31日までの制度延長)										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	需用費	42	消耗品費(色上質紙)、印刷製本費(済証印刷)								
	役務費	366	郵送料、国保連審査支払手数料								
	委託料	3,867	ワクチン接種委託料								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	4,848		4,747		4,797		3,985	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)	4,848		4,747		4,797		3,985		
予算財源内訳	① 一般財源	4,848		4,747		4,797		3,985	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0	
	② 配当予算	4,848		4,747		4,797		3,985	
	③ 執行額	4,387		4,274		4,274		3,985	
	④ 執行率	90.5%		90.0%		90.0%		90.0%	
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	1.01	/	0.10	0.55	/	0.04	/	/
	② 概算人件費	8,330		4,500		4,500		4,500	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,717		8,774		8,774		8,774		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	肺炎での死亡者数(市)	人	40	/	0	38	/	0	43	/	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	接種者数	人	888	/	1000	837	/	1000	787	/	1000	1000
	単位あたりコスト		5.0		5.2		5.4					
	65歳の接種率(新規接種者)	%	52.3	/	60	49.9	/	60	44.2	/	60	60
単位あたりコスト		85.5		87.9		96.7						

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種は、予防接種法に基づく法令上の業務である。 特に高齢者で基礎疾患のある人は重症化リスクが高いため、肺炎予防の一つの方法として必要。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者は定期的B類疾病であり、一定の接種者負担は妥当であると考え。自己負担額はワクチン代相当。 新規対象者となる65歳に限定し接種通知を送付するとともに、各戸配布される「広報ふくちやま」に記事を掲載した。これらにより、予診票の再発行や問合せが増え、効果的な勧奨につながった。 市内医療機関だけでなく、市外医療機関での接種希望者にも対応し、効率的な接種が行えた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスク者である高齢者の接種は有効であり、死亡者数や接種率を設定するのは妥当だと考えるが、肺炎球菌感染症はB類疾病で個人の判断による接種であることから、令和4年度も目標を下回る結果となった。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国全体の接種率が低く、令和5年度までは継続実施するよう法律が一部変更された。令和6年度以降の実施については国の動向を見ながら検討していく。 令和4年度の死亡者数は未確定ではあるが、令和3年度までの死亡者数が大きく上昇していないことから一定の効果があると評価している。 接種することにより肺炎の予防、重症化を防ぐため、接種率を向上させていく必要があるが、横ばいである。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は事業を実施するが、令和6年度以降は予防接種法の改正等、国からの情報を収集し対応する。 対象者には制度についてその都度丁寧に説明し、対象年度中の接種を案内していく。 引き続き65歳の新規対象者には、接種通知のはがきを送付する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	現時点で予防接種法の改正通知はないが、京都府より「少なくとも新規65歳を対象にした接種は継続予定」との回答があったため、令和6年度も事業を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新型コロナウイルス感染症対策管理事業					事業コード	410392					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり					
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ				施策コード	521					
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課				所属長	田和 昌弘					
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	154	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	新型インフルエンザ等対策特別措置法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症に関する国府の動向や地域の感染状況に応じた本市の意思決定・統一を図ることにより、市民の命と健康を守り、地域経済・雇用を支え、だれもが幸せを生きるまちづくりにつなげる。											
対象者	市民			対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・ 国府の動向や地域の感染状況に応じ、福知山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し(5回開催)、市の方針を決定した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容							
	需用費		142		事務用品							
	役務費		27		電話代							
	使用料及び賃借料		52		複写機使用料							
	備品購入費		100		庁内備品							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	835	835	835	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	835	835	835	0					
予算財源内訳	① 一般財源	835	835	835	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	835	835						
	③ 執行額	438	321						
	④ 執行率	52.5%	38.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.50 / 0.00	0.64 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	4,000	5,120						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,438	5,441							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
新型コロナウイルス感染者数	指標	人	76 / 0	3053 / 0	- / 0	/ -	-
	単位あたりコスト		72.5	219.0			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	支援制度冊子発行	回	11 / 10	2 / 10	0 / 5	/ -	-
	市コロナ対策本部会議開催		0 / 0	24 / 0	5 / 0		
	単位あたりコスト		0.0	18.3	64.2		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザ等対策特別措置法第3条第4項にて、地方公共団体は、新型インフルエンザ等対策を総合的に推進する責務を有する。 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、国・府の対応に応じて、福知山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し(5回開催)、市の方針を決定した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の運営にかかる事務経費等である。 会議はオンラインを中心に開催し、感染対策だけでなく、効率性や利便性の向上を図ることができた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年9月に感染者の全数把握の見直しに伴い、本市の感染者数の発表は廃止されたため、成果実績は把握困難となった。 国の方針に伴い、まん延防止等重点措置等の発令など、社会に大きく影響を与える制限はなくなり、対策本部会議の開催も減少した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国府の動向や陽性者の発生状況に応じて対策会議を開催し、意思決定・統一を図ることができた。迅速かつ臨機応変な対応が必要だったが、混乱することなく有効に機能した。 予算編成時には、新型コロナを取り巻く情勢や国等の方針が不確定であったため、前年度同様に予算計上したが、結果的に予算を要する対応が少なかったため、執行率は低かった。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年5月8日には、感染症法上の分類が2類相当から5類へ見直されたことを受け、国及び府の新型コロナウイルス感染症対策本部が廃止されると同時に、市対策本部及び新型コロナウイルス感染症対策室は廃止となった。 今後は、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき「新型コロナウイルス感染症対策連絡会議」を設置し、必要に応じて対応する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和5年5月8日に、感染症法上の分類が2類相当から5類へ見直され、市対策本部及び新型コロナウイルス感染症対策室は廃止となったことに伴い、当事業は終了。今後は、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、必要に応じて対応する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業				事業コード	410397						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費		会計	01 一般会計	決算附属資料	160	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	予防接種法、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱及び予防接種法に基づき、新型コロナウイルスワクチンの予防接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぎ、重症者や死亡者を減少させる。											
対象者	生後6か月以上の市民			対象者数	75,000		単位あたりコスト	4.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	福知山医師会、福知山薬剤師会、京都コンピューターシステム事業協同組合、株式会社タカギ印刷、一般財団法人関西電気保安協会北京都営業所 ほか											
事業概要 (箇条書き)	・ワクチン接種の委託 ・接種体制の整備に係る人員配置 ・集団接種会場の運営委託 ・ワクチン接種券・お知らせ文書等の送付 ・ワクチン接種予約システムの保守及び改修業務 等											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	報酬・職員手当	38,802		職員報酬・期末手当								
	報償費・需用費	4,832		新型コロナウイルスワクチンお知らせ文書印刷、接種会場消耗品費等								
	役員費・委託料	281,931		郵送料・システム保守管理・インターネット回線利用料、接種委託料、接種券等の印刷及び封入封緘等								
	使用料及び賃借料	1,791		公用車賃借料、デジタル複合機賃借								
	備品購入費・負担金補助及び交付金・補償、補償及び賠償金		2,268		備品購入、レンタカー事故による営業補償の一部負担金(損害賠償金)、民間企業からの出向負担金							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	224,589	17,267	0	0				
	② 補正予算	345,195	375,651	0	0				
	③ 繰越予算	△ 71,564	75,559	157,538	0				
	前年度繰越	161,533	233,097	157,538					
	次年度繰越	△ 233,097	△ 157,538						
小計(①～③)	498,220	468,477	157,538	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	498,220	468,477	157,538	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流用額	0	0						
	② 配当予算	498,220	468,477						
	③ 執行額	488,603	329,624						
	④ 執行率	98.1%	70.4%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	5.39 / 0.21	4.19 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	43,645	33,520						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	532,248	363,144							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金	種類	衛生費国庫負担金	実績金額	257,562	決算附属資料	16	頁
		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業国庫補助金		衛生費国庫補助金		71,826		18	
		新型コロナワクチン接種費等(住所地外分)		衛生費国庫補助金		236		48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	接種率	%	0 / 0	87.39 / 100	45 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	集団接種会場数	件	0 / 0	171 / 192	72 / 75	/ 22	-
	単位あたりコスト		0.0	2857.3	4578.1		
	個別接種実施医療機関	件	/	32 / 57	29 / 57	新型コロナウイルスワクチン接種事業	
単位あたりコスト			15268.8	11366.3			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスワクチン接種は、感染症の発症を予防する効果があり、感染症のまん延の防止を図るために必要。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 接種費用は全額国が負担することとなり、被接種者の自己負担はない。 支出にあたっては、補助金・交付金の要綱等と照合を行い、適用されるものを支出した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 接種の実施にあたっては、医師会や薬剤師会と事前の協議を重ねながら進めている。 多くの方に新型コロナウイルスワクチンをスムーズに接種できた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 接種券の発送等、円滑に予防接種が実施できるよう、速やかかつ確実に実施している。 医師会、薬剤師会等関係団体と連絡を密にし、協議の上で実施できている。 市民がワクチン接種に対して理解が深められるよう、広報誌や新聞等において、丁寧に周知広報を行っている。 接種の回数を重ねることに接種率が下がってきているため、感染の波が懸念される。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 今後も必要に応じて関係団体と協議し、速やかかつ安全に接種が実施できるように努めていく。 希望する方に接種する機会を確保する必要があるため、さらに広報等幅広く周知をすることにより、接種しやすい環境づくりを進めていく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	新型コロナウイルスワクチンの令和6年度以降の取り扱いについては、現時点で国で検討が進められているところであり、その方針に基づき対応する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	自宅療養者等配食サービス事業				事業コード	410399						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ			施策コード	521						
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課			所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	112	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市自宅療養者等配食サービス事業実施要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症陽性者の自宅療養者及び濃厚接触者等として自宅待機を要請された方等に対し、配食サービスを実施することで、外出することなく安心して自宅療養・健康観察に専念できる環境を確保する。											
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.6							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	弁当配達事業所(ふくし事業協同組合、社会福祉法人福知山シルバー)、コールセンター人材派遣((株)アウトソーシングジャパン)、ほか1件											
事業概要 (箇条書き)	・ コールセンターにて、サービス提供希望者からの配食サービス受付。(R4.8月から土日祝日も受付拡充) ・ 対象者(新型コロナウイルス感染症陽性者の自宅療養者及び濃厚接触者等として自宅待機を要請された方)に対し、自宅療養または自宅待機の最終日までの間の昼食・夕食2食を自己負担なしで、配食事業者が配達する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	需用費	2,877	レトルト食品購入費									
	役務費	60	郵送料									
	委託料	41,024	配食サービス委託料、コールセンター人材派遣									
	使用料	147	住宅地図利用料									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0					
	② 補正予算	34,712	52,501	0	0					
	③ 繰越予算	△ 17,790	16,790	1,000	0					
	前年度繰越	0	17,790	1,000						
	次年度繰越	△ 17,790	△ 1,000							
小計(①～③)	16,922	69,291	1,000	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	303	0					
	② 国支出金	16,922	50,468	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	18,823	697	0					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	16,922	69,291							
	③ 執行額	16,109	44,108							
	④ 執行率	95.2%	63.7%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.10 / 0.00	0.65 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	800	5,200							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,909	49,308								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	自宅療養者配食サービス事業(臨時交付金)	種類	民生費国庫補助金	実績金額	25,616	18	決算附属資料	18	頁
		自宅療養者配食サービス事業(臨時交付金)(繰越明許費分)		民生費国庫補助金	8,059					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	新型コロナウイルス感染者数	人	0 / 0	3053 / 0	- / 0	- / -	-
	のべ配食利用世帯数	世帯	0 / 0	687 / 0	1808 / 0	2 / -	-
	単位あたりコスト		0.0	19.4	24.4		
	のべ配食数	食	0 / 0	20919 / 0	38381 / 0	24	自宅療養者等配食サービス事業
	単位あたりコスト		0.0	0.6	1.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者及び自宅待機を要請された方が安心して自宅療養・健康観察に専念できるように配食サービスを行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業で実績のある配食業者と契約することで、各エリアごとで迅速かつ効率的に配食サービスを行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年9月に感染者の全数把握の見直しに伴い、本市の感染者数の発表は廃止されたため、成果実績は把握困難となった。 自宅療養者等該当者が安心して自宅療養できるサービスを提供できた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の陽性者等に対する市独自の緊急事業であり、自宅療養者や自宅待機を要請された方が安心して自宅療養・健康観察に専念するため効果があったと考える。 R4.8月からはコールセンターを開設し、土日祝日にも受付を拡充することで、感染が急拡大する状況においても、自宅療養や健康観察に専念できるようサービスを提供でき、自宅療養者や濃厚接触者等の不安の解消にもつながった。 		
改善策	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5月7日から5類に変更となることに伴い、当事業は終了した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5月7日から5類に変更となったことに伴い、当事業は終了。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--